



令和7年度

学修要項

(Phase II)

2年次生用

佐賀大学医学部医学科

佐賀大学憲章

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します

魅力ある大学

目的をもって生き活きと学び行動する学生中心の大学づくりを進めます

創造と継承

自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めます

教育先導大学

高等教育の未来を展望し、社会の発展に尽くします

研究の推進

学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の研究を世界に発信します

社会貢献

教育と研究の両面から、地域や社会の諸問題の解決に取り組みます

国際貢献

アジアの知的拠点を目指し、国際社会に貢献します

検証と改善

不断の検証と改善に努め、佐賀の大学としての責務を果たします

目 次

1. 佐賀大学憲章（表紙裏）

2. 教育の概要

佐賀大学医学部の使命・理念・目的・卒業時学修成果	1
医学部医学科修得課程表（ロードマップ）	3
医学部医学科カリキュラム模式図（令和5年度以降入学生）	7
医学部医学科授業科目開設表（令和5年度以降入学生）	8
令和7～8年度医学科フェイズチェアパーソン及びコ・チェアパーソン一覧表	10

3. 教育・評価に関する規定等

進級・卒業認定方法の周知について	11
成績評価の異議申立てについて	12
佐賀大学医学部試験の実施に関する内規	14
佐賀大学学部医学科の授業科目等の履修に係る資格要件に関する内規	16
佐賀大学医学部規則について	17
佐賀大学学生の懲戒等実施細則について	18

4. 2年次生の学修指針等

PhaseⅡにおける学修の目的と学修内容の概要	21
令和7年度医学科2年次日程表	22
シラバスの見かた	24

5. 授業科目の学修指針等

免疫学	25
組織学	28
神経解剖学	32
肉眼解剖学	35
生化学	40
動物性機能生理学	43
植物性機能生理学	47
薬理学	51
微生物学	56
病理学	60

Phase I のうち、2 年次に履修する授業科目の学修指針等	
医療入門Ⅱ	65
Phase V のうち、2 年次で履修できる選択コースについて	
選択コースの実施及び履修に関する取扱要項	69
基礎系・臨床系選択科目	71
地域枠入学制特別プログラム	73
6. 学位授与の方針／教育課程編成・実施の方針	
医学部医科学学位授与の方針	79
医学部医学科教育課程編成・実施の方針	80
7. その他	
コースナンバリングについて	83
アクティブラーニングについて	85
8. オフィスアワー 一覧（オフィスアワーについて）	87

2 教育の概要

佐賀大学医学部の使命・理念・教育目的・卒業時学修成果

医学部の使命

医及び看護の実践とその科学的創造形成の過程を通じて医学及び看護学の知識技術並びに医師又は看護職者たるにふさわしい態度を習得し、かつ、これらを生涯にわたって創造発展させることのできる人材を養成することを目的とし、もって医学及び看護学の水準及び地域医療の向上に寄与する。

医学部の基本理念

医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうる良き医療人を育成し、もって医学・看護学の発展及び地域包括医療の向上に寄与する。

医学科の教育目的

医の実践において、強い生命倫理観に基づくとともに広い社会的視野の下に包括的に問題をとらえ、その解決を科学的・創造的に行うような医師を育成する。

医学科の卒業時学修成果

佐賀大学医学部医学科は、以下のような能力を備えた卒業生を輩出する。

1. プロフェッショナリズム
2. 医学的知識
3. 安全で最適な医療の実践
4. コミュニケーションと協働
5. 国際的な視野に基づく地域医療への貢献
6. 科学的な探究心

卒業時学修成果の内容

1 プロフェッショナリズム

佐賀大学医学部医学科の卒業生は、卒業時に

医師の職責を理解し、患者中心の医療を推進すべく行動できる。

- 1.1 医師の職責を理解し、倫理的・法的な規範に則った行動をとることができる。
- 1.2 患者や家族の価値観と権利を尊重した患者中心の医療を推進できる。
- 1.3 患者のプライバシーを守り、利益相反の生じる可能性に配慮して職務を遂行できる。
- 1.4 医療人への社会的期待を理解し、誠実で責任感のある態度で行動できる。
- 1.5 自らの実践を省察し、課題の発見と改善に努める自己主導型学修の習慣を身に付けている。

2 医学的知識

佐賀大学医学部医学科の卒業生は、卒業時に

基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学を統合的に学修し、問題解決に応用できる。

- 2.1 人間のライフサイクル
- 2.2 人間の心理と行動

2.3 人間の正常な構造と機能

2.4 人間の機能的・構造的異常状態と原因

2.5 治療の原理と適応

2.6 疾病の疫学, 予防

3 安全で最適な医療の実践

佐賀大学医学部医学科の卒業生は, 卒業時に

患者の安全を最優先し, 根拠に基づく効果的な医療を実践することができる。

3.1 医療面接, 基本的身体診察を実施し臨床推論ができる。

3.2 必要な検査を選択し, 適切に実施・解釈できる。

3.3 最適な医療情報を患者に適用し, 適切に診断・治療計画を立案することができる。

3.4 問題志向型診療記録を作成し, 正確かつ簡潔に症例提示ができる。

3.5 医療安全に配慮し, 医療チームの一員として診療に参画できる。

3.6 医療制度, 医療経済を理解し, 最適な医療提供のために活用できる。

4 コミュニケーションと協働

佐賀大学医学部医学科の卒業生は, 卒業時に

患者の価値観を尊重し, 他の医療者と円滑に協働することができる。

4.1 患者の心理社会的背景を理解し, 良好な患者医師関係を築くことができる。

4.2 医療チーム内で信頼関係を築き, 目的達成のために役割を果たすことができる。

4.3 専門の異なる医師や他職種の医療者と円滑に連携することができる。

4.4 患者の意思決定を支援するために, 必要な情報を提供し同意を得ることができる。

4.5 他者に建設的な批判ができ, 他者からの評価や助言を謙虚に受け止めることができる。

4.6 後進のロールモデルとなるべく行動し, 医療者育成に参画することができる。

5 国際的な視野に基づく地域医療への貢献

佐賀大学医学部医学科の卒業生は, 卒業時に

国際的な視野で医療の発展を理解し, 地域の特性に応じた医療の維持・発展に貢献できる。

5.1 個人, 地域社会, 国際社会における価値観や文化の多様性を理解している。

5.2 医療の国際化を理解し, 英語での情報収集, 情報発信ができる。

5.3 地域の保健・医療・福祉の関連諸機関の適切な連携を理解している。

5.4 地域の特性や多様なニーズを理解し, 地域の急性期および慢性期医療に参画できる。

6 科学的な探究心

佐賀大学医学部医学科の卒業生は, 卒業時に

医療・医学の発展に貢献すべく, 科学的な探究心と方法論を身につけている。

6.1 医学的研究(基礎研究, 臨床研究, 疫学研究)の方法論と倫理を理解し遵守できる。

6.2 未解決の医療・医学的問題に着目し, 解決に取り組む積極的な姿勢を身につけている。

6.3 問題解決のために情報の質を吟味し, 論理的・批判的な思考ができる。

佐賀大学医学部医学科 修得課程表(ロードマップ)

A: 医療現場で実践できる (Does) ☒ B: 基本的な技能・態度を身につけている (shows how) ☐ C: 基礎となる知識・技能・態度を理解している (knows, knows how) ☐		教養教育科目										専門教育科目								
		Phase I																		
		区分	共通基礎科目				基本教養科目				専門基礎科目									
		単位数	4	4	2	1	14				8	2	2	2	1	2	3	3		
		履修学年	1	1	1	1	1-2	1-2	1-2	1-2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
授業科目		医療入門Ⅰ	英語	情報基礎概論	情報基礎演習Ⅰ	自然科学と技術の分野	文化の分野	現代社会の分野	インターネット・フェイス科目	生命倫理学	行動科学原論	医療入門Ⅱ	医療統計学	物理学	化学	生物学				
1 プロフェッショナリズム																				
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に 医師の職責を理解し、患者中心の医療を推進すべく行動できる。																				
1.1	医師の職責を理解し、倫理的・法的な規範に則った行動をとることができる																			
1.2	患者や家族の価値観と権利を尊重した患者中心の医療を推進できる																			
1.3	患者のプライバシーを守り、利益相反の生じる可能性に配慮して職務を遂行できる																			
1.4	医療人への社会的期待を理解し、誠実で責任感のある態度で行動できる																			
1.5	自らの実践を省察し、課題の発見と改善に努める自己主導型学修の習慣を身に付けている																			
2 医学的知識																				
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に 基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学を統合的に学習し、問題解決に応用できる。																				
2.1	人間のライフサイクル																			
2.2	人間の心理と行動																			
2.3	人間の正常な構造と機能																			
2.4	人間の機能的・構造的異常状態と原因																			
2.5	治療の原理と適応																			
2.6	疾病の疫学、予防																			
3 安全で最適な医療の実践																				
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に 患者の安全を最優先し、根拠に基づく効果的な医療を実践することができる。																				
3.1	医療面接、基本的身体診察を実施し臨床推論ができる																			
3.2	必要な検査を選択し、適切に実施／解釈しできる																			
3.3	最適な医療情報を患者に適用し、適切に診断・治療計画を立案することができる																			
3.4	問題志向型診療記録を作成し、正確かつ簡潔に症例提示ができる																			
3.5	医療安全に配慮し、医療チームの一員として診療に参画できる																			
3.6	医療制度、医療経済を理解し、最適な医療提供のために活用できる																			
4 コミュニケーションと協働																				
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に 患者の価値観を尊重し、他の医療者と円滑に協働することができる。																				
4.1	患者の心理社会的背景を理解し、良好な患者医師関係を築くことができる																			
4.2	医療チーム内で信頼関係を築き、目的達成のために役割を果たすことができる																			
4.3	専門の異なる医師や他職種の医療者と円滑に連携することができる																			
4.4	患者の意思決定を支援するために、必要な情報を提供し同意を得ることができる																			
4.5	他者に建設的な批判ができ、他者からの評価や助言を謙虚に受け止めることができる																			
4.6	後進のロールモデルとなるべく行動し、医療者育成に参画することができる																			
5 国際的な視野に基づく地域医療への貢献																				
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に 国際的な視野で医療の発展を理解し、地域の特性に応じた医療の維持・発展に貢献できる。																				
5.1	個人、地域社会、国際社会における価値観や文化の多様性を理解している																			
5.2	医療の国際化を理解し、英語での情報収集、情報発信ができる																			
5.3	地域の保健・医療・福祉の関連諸機関の適切な連携を理解している																			
5.4	地域の特性や多様なニーズを理解し、地域の急性期および慢性期医療に参画できる																			
6 科学的な探求心																				
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に 医療・医学の発展に貢献すべく、科学的な探求心と方法論を身につけている。																				
6.1	医学的研究(基礎研究、臨床研究、疫学研究)の方法論と倫理を理解し遵守できる																			
6.2	未解決の医療・医学的問題に着目し、解決に取り組む積極的な姿勢を身につけている																			
6.3	問題解決のために情報の質を吟味し、論理的・批判的な思考ができる																			

佐賀大学医学部医学科 修得課程表(ロードマップ)

A: 医療現場で実践できる (Does) ☒ B: 基本的な技能・態度を身につけている (shows how) ☐ C: 基礎となる知識・技能・態度を理解している (knows, knows how) ☐		専門教育科目														
		Phase II														
		基礎医学科目														
		区分														
		単位数	2	3	2	1	4	2	2	4	2	3	3	3	3	3
履修学年	1	1	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2		
授業科目		分子生物学Ⅰ	分子生物学Ⅱ	免疫学	人体発生学	組織学	神経解剖学	肉眼解剖学概説	肉眼解剖学	生化学	動物性機能生理学	植物性機能生理学	薬理学	微生物学	病理学	
1 プロフェッショナリズム																
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に医師の職責を理解し、患者中心の医療を推進すべく行動できる。																
1.1	医師の職責を理解し、倫理的・法的な規範に則った行動をとることができる															
1.2	患者や家族の価値観と権利を尊重した患者中心の医療を推進できる															
1.3	患者のプライバシーを守り、利益相反の生じる可能性に配慮して職務を遂行できる															
1.4	医療人への社会的期待を理解し、誠実で責任感のある態度で行動できる															
1.5	自らの実践を省察し、課題の発見と改善に努める自己主導型学習の習慣を身に付けている															
2 医学的知識																
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学を統合的に学習し、問題解決に応用できる。																
2.1	人間のライフサイクル															
2.2	人間の心理と行動															
2.3	人間の正常な構造と機能															
2.4	人間の機能的・構造的異常状態と原因															
2.5	治療の原理と適応															
2.6	疾病の疫学、予防															
3 安全で最適な医療の実践																
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に患者の安全を最優先し、根拠に基づく効果的な医療を実践することができる。																
3.1	医療面接、基本的身体診察を実施し臨床推論ができる															
3.2	必要な検査を選択し、適切に実施／解釈ができる															
3.3	最適な医療情報を患者に適用し、適切に診断・治療計画を立案することができる															
3.4	問題志向型診療記録を作成し、正確かつ簡潔に症例提示ができる															
3.5	医療安全に配慮し、医療チームの一員として診療に参画できる															
3.6	医療制度、医療経済を理解し、最適な医療提供のために活用できる															
4 コミュニケーションと協働																
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に患者の価値観を尊重し、他の医療者と円滑に協働することができる。																
4.1	患者の心理社会的背景を理解し、良好な患者医師関係を築くことができる															
4.2	医療チーム内で信頼関係を築き、目的達成のために役割を果たすことができる															
4.3	専門の異なる医師や他職種の医療者と円滑に連携することができる															
4.4	患者の意思決定を支援するために、必要な情報を提供し同意を得ることができる															
4.5	他者に建設的な批判ができ、他者からの評価や助言を謙虚に受け止めることができる															
4.6	後進のロールモデルとなるべく行動し、医療者育成に参画することができる															
5 国際的な視野に基づく地域医療への貢献																
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に国際的な視野で医療の発展を理解し、地域の特性に応じた医療の維持・発展に貢献できる。																
5.1	個人、地域社会、国際社会における価値観や文化の多様性を理解している															
5.2	医療の国際化を理解し、英語での情報収集、情報発信ができる															
5.3	地域の保健・医療・福祉の関連諸機関の適切な連携を理解している															
5.4	地域の特性や多様なニーズを理解し、地域の急性期および慢性期医療に参画できる															
6 科学的な探求心																
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に医療・医学の発展に貢献すべく、科学的な探求心と方法論を身につけている。																
6.1	医学的研究(基礎研究、臨床研究、疫学研究)の方法論と倫理を理解し遵守できる															
6.2	未解決の医療・医学的問題に着目し、解決に取り組む積極的な姿勢を身につけている															
6.3	問題解決のために情報の質を吟味し、論理的・批判的な思考ができる															

佐賀大学医学部医学科 修得課程表(ロードマップ)

		専門教育科目																			
		Phase III															Phase V				
		機能・系統別PBL科目															選択コース				
		単位数	7	4	3	4	4	4	3	4	4	4	4	6	3	2	6				
履修学年	3-4	3	3	3	3	3	3	3	3-4	4	3-4	4	4	3-4	4	3-4	選基礎系・臨床系選択科目	選地域枠入学生特別プログラム	選特定プログラム教育科目	選学外研修・ボランティア等	6 総括講義
A: 医療現場で実践できる (Does) ☒ B: 基本的な技能・態度を身につけている (shows how) ☐ C: 基礎となる知識・技能・態度を理解している (knows, knows how) ☐		授業科目																			
		臨床医学入門	循環器	呼吸器	消化器	代謝・内分泌・腎・泌尿器	血液・腫瘍・感染症	皮膚・膠原	運動・感覚器	精神・脳・神経	小児・女性	救急・麻酔・総合診療	社会医学・医療社会法制	統合医療	医学英語						
1 プロフェッショナリズム																					
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に医師の職責を理解し、患者中心の医療を推進すべく行動できる。																					
1.1	医師の職責を理解し、倫理的・法的な規範に則った行動をとることができる																				
1.2	患者や家族の価値観と権利を尊重した患者中心の医療を推進できる																				
1.3	患者のプライバシーを守り、利益相反の生じる可能性に配慮して職務を遂行できる																				
1.4	医療人への社会的期待を理解し、誠実で責任感のある態度で行動できる																				
1.5	自らの実践を省察し、課題の発見と改善に努める自己主導型学修の習慣を身に付けている																				
2 医学的知識																					
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学を統合的に学習し、問題解決に応用できる。																					
2.1	人間のライフサイクル																				
2.2	人間の心理と行動																				
2.3	人間の正常な構造と機能																				
2.4	人間の機能的・構造的異常状態と原因																				
2.5	治療の原理と適応																				
2.6	疾病の疫学、予防																				
3 安全で最適な医療の実践																					
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に患者の安全を最優先し、根拠に基づく効果的な医療を実践することができる。																					
3.1	医療面接、基本的身体診察を実施し臨床推論ができる																				
3.2	必要な検査を選択し、適切に実施／解釈できる																				
3.3	最適な医療情報を患者に適用し、適切に診断・治療計画を立案することができる																				
3.4	問題志向型診療記録を作成し、正確かつ簡潔に症例提示ができる																				
3.5	医療安全に配慮し、医療チームの一員として診療に参画できる																				
3.6	医療制度、医療経済を理解し、最適な医療提供のために活用できる																				
4 コミュニケーションと協働																					
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に患者の価値観を尊重し、他の医療者と円滑に協働することができる。																					
4.1	患者の心理社会的背景を理解し、良好な患者医師関係を築くことができる																				
4.2	医療チーム内で信頼関係を築き、目的達成のために役割を果たすことができる																				
4.3	専門の異なる医師や他職種の医療者と円滑に連携することができる																				
4.4	患者の意思決定を支援するために、必要な情報を提供し同意を得ることができる																				
4.5	他者に建設的な批判ができ、他者からの評価や助言を謙虚に受け止めることができる																				
4.6	後進のロールモデルとなるべく行動し、医療者育成に参画することができる																				
5 国際的な視野に基づく地域医療への貢献																					
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に国際的な視野で医療の発展を理解し、地域の特性に応じた医療の維持・発展に貢献できる。																					
5.1	個人、地域社会、国際社会における価値観や文化の多様性を理解している																				
5.2	医療の国際化を理解し、英語での情報収集、情報発信ができる																				
5.3	地域の保健・医療・福祉の関連諸機関の適切な連携を理解している																				
5.4	地域の特性や多様なニーズを理解し、地域の急性期および慢性期医療に参画できる																				
6 科学的な探求心																					
佐賀大学医学部の卒業生は、卒業時に医療・医学の発展に貢献すべく、科学的な探求心と方法論を身につけている。																					
6.1	医学的研究(基礎研究、臨床研究、疫学研究)の方法論と倫理を理解し遵守できる																				
6.2	未解決の医療・医学的問題に着目し、解決に取り組む積極的な姿勢を身につけている																				
6.3	問題解決のために情報の質を吟味し、論理的・批判的な思考ができる																				

— 6 —

医学部医学科カリキュラム模式図（令和5年度以降入学生）

1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		5 年 次		6 年 次	
前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
大学入門科目Ⅰ (医療入門Ⅰ)2-(1,3)		医療入門Ⅱ		Unit1 臨床医学入門							
基本教養科目 インターフェース科目		1-(1,2) 2-(1,3),3-(1,2)									
外国語科目 1-(2)		免疫学		Unit2 循環器	Unit6 血液・腫瘍・感染症	Unit10 小児・女性			臨床実習		
情報リテラシー 科目1-(2)		組織学		Unit3 呼吸器	Unit7 皮膚・膠原	Unit11 救急・麻酔・総合診療			地域医療実習		
生命倫理学		神経解剖学		Unit4 消化器	Unit8 運動・感覚器	Unit12 社会医学・医療社会法制			関連教育病院実習		
行動科学原論		生化学		Unit5 代謝・内分泌・腎・泌尿器	Unit9 精神・脳・神経	Unit13 統合医療			◆臨床実習後 OSCE		
物理学		動物性機能生理学				臨床実習					
生物学		植物性機能生理学									
化学											
分子生物学Ⅰ		肉眼解剖学概説		医学英語				基礎系・臨床系 選択科目			
				特定プログラム教育科目							
				基礎系・臨床系選択科目							
				地域枠入学生特別プログラム							

※上記単位数は標準修得単位数（選択コース6単位除く），教養教育科目及び各Phaseに付した番号は，学位授与の方針

Phase I
1-(2)

Phase II
1-(3)

Phase III
2-(2,3)

Phase IV
2-(2,3)
3-(2,3)

Phase V
2-(2)

授 業 科 目 開 設 表（令和5年度以降入学生）

医学科

教養教育科目

区 分		授 業 科 目	単 位 数	修 得 区 分	履 修 年 次												備考
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		6 年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
大 学 入 門 科 目		大学入門科目Ⅰ(医療入門Ⅰ)	4	必	4												
		小 計	4		4												
共通基礎科目	外国語科目	英語	4	必	4												
		小 計	4		4												
	情報リテラシー科目	情報基礎概論	2	必	2												
		情報基礎演習Ⅰ	1	必	1												
		小 計	3		3												
基本教養科目	自然科学と技術の分野		14	選必	14												各分野から2単位以上修得
	文化の分野																
	現代社会の分野																
	小 計		14		14												
インターフェース科目			8	選必	8												
教 養 教 育 科 目 合 計			33														

専門教育科目

区 分	授 業 科 目	単 位 数	修 得 区 分	履 修 年 次												備 考
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		6 年次		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 基 礎 科 目	生命倫理学	2	必	2												
	行動科学原論	2	必	2												
	医療入門Ⅱ	2	必			2										
	医療統計学	1	必		1											
	物理学	2	必	2												
	化学	3	必	3												
	生物学	3	必	3												
	小 計	15		13		2										
基 礎 医 学 科 目	分子生物学Ⅰ	2	必	2												
	分子生物学Ⅱ	3	必		3											
	免疫学	2	必			2										
	人体発生学	1	必		1											
	組織学	4	必			4										
	神経解剖学	2	必			2										
	肉眼解剖学概説	2	必		2											
	肉眼解剖学	4	必			4										
	生化学	2	必			2										
	動物性機能生理学	3	必			3										
	植物性機能生理学	3	必			3										
	薬理学	3	必				3									
	微生物学	3	必				3									
	病理学	3	必				3									
	小 計	37		8		29										

区 分	授 業 科 目	単 位 数	修 得 区 分	履 修 年 次												備考
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		6 年次		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
臨床・社会医学科目	臨床医学入門	7	必					7								PBL教育（医学英語を除く）
	循環器	4	必					4								
	呼吸器	3	必					3								
	消化器	4	必					4								
	代謝・内分泌・腎・泌尿器	4	必					4								
	血液・腫瘍・感染症	4	必						4							
	皮膚・膠原	3	必						3							
	運動・感覚器	4	必						4							
	精神・脳・神経	4	必					4								
	小児・女性	4	必							4						
	救急・麻酔・総合診療	4	必							4						
	社会医学・医療社会法制	6	必							6						
	統合医療	3	必							3						
	医学英語	2	必					2								
	小 計	56						56								
臨床実習	臨床実習	60	必							60						
	地域医療実習	4	必									4				
	関連教育病院実習	4	必									4				
	小 計	68										68				
択科目	基礎系・臨床系選択科目	6	選													
	地域枠入学生特別プログラム科目		選													
	特定プログラム教育科目		選													
	学外研修・ボランティア等		選													
	小 計	6														
専 門 教 育 科 目 合 計		182														

令和 7 ～ 8 年度 医学科フェイズチェアパーソン 及びコ・チェアパーソン一覧表

フェイズ	職 名	氏 名
フェイズⅠ	チェアパーソン	川 口 淳
	コ・チェアパーソン	坂 本 麻衣子
フェイズⅡ	チェアパーソン	吉 田 裕 樹
	コ・チェアパーソン	宮 本 比呂志
フェイズⅢ	チェアパーソン	小 田 康 友
	コ・チェアパーソン	江 崎 幹 宏
フェイズⅣ	チェアパーソン	多 胡 雅 毅
	コ・チェアパーソン	小 網 博 之
フェイズⅤ	チェアパーソン	副 島 英 伸
	コ・チェアパーソン	福 森 則 男

3 教育・評価に関する規定等

進級・卒業認定方法の周知について

(医学科)

進級について

【進級要件】

医学科においては、1年次から2年次、2年次から3年次、4年次から5年次への進級要件がそれぞれ定められています。

[本冊子「佐賀大学学部医学科の授業科目等の履修に係る資格要件に関する内規」参照]

在学年限は10年と定められています。ただし、1年次及び2年次の在学年限は、同一年次において2年を超えることはできません。

[学生便覧「佐賀大学学則」参照]

【進級判定】

進級判定は、3月の教授会において行います。その結果については、3月下旬に掲示にて通知します。

卒業について

【卒業要件】

医学科を卒業するためには、6年以上在学（休学期間は含めない。）し、所定の単位を修得し、臨床実習後OSCE及び総括講義に合格しなければなりません。

[本冊子「授業科目開設表」参照]

【卒業判定】

卒業判定は、1月の教授会において行います。その結果については、1月中旬に掲示にて通知します。

成績評価の異議申立てについて

佐賀大学学生の成績評価の異議申立ての手続きに関する要項

(平成19年 1 月30日制定)

(趣旨)

第1 この要項は、佐賀大学成績判定等に関する規程（平成16年 4 月 1 日制定）第2条第2項により行われる佐賀大学（以下「本学」という。）の学生の成績評価について、本学の学生（学生であったものを含む。以下同じ。）が自身の成績評価に対して異議を申し立てる場合の手続き等に関し必要な事項を定めるものとする。

(異議の申立て)

第2 学生が、自身の成績評価に対して異議がある場合は、成績通知後 1 月以内（やむを得ない事情がある場合には、2 月以内）に、授業科目を開講する当該学部等（以下「当該学部等」という。）の学部長等（教養教育科目にあっては、全学教育機構長、大学院の授業科目にあっては研究科長とする。以下同じ。）に異議を申立てることができる。

2 前項の申立ては、学務部教育企画課、教務課又は医学部学生課の担当窓口において、所定の様式により行うものとする。

(異議申立てへの対応等)

第3 学部長等は、第2の手続きにより学生から異議申立てがあった場合には、当該学部等の教育に関する委員会（以下「委員会」という。）に異議申立ての内容等の調査・検討を行わせるものとする。

2 前項の委員会による調査・検討は、当該授業科目の試験問題、答案、課題、学生が提出したレポートその他授業及び成績評価に用いた資料（以下「成績評価資料等」という。）並びに当該授業科目を担当した教員に対するヒアリングにより行うものとし、委員会は、その調査結果を学部長等に報告しなければならない。

3 第1項の委員会による調査・検討は、異議申立てがあった日から起算して、原則、1 月以内に終えるものとする。

4 本学において授業を担当する教員は、教育活動の正当性を証明するとともに、前項の調査・検討の可能性を確保するため、国立大学法人佐賀大学法人文書管理規定（平成23年 3 月23日制定）に基づき当該授業科目の成績評価資料等を保存・管理しなければならない。

第4 学部長等は、第3の委員会による調査・検討結果の結果報告に基づき、教授会（教養教育科目にあっては、全学教育機構運営委員会、大学院の授業科目にあっては、研究科委員会）の議を経て、異議の認否及び成績評価の取扱いを決定し、速やかに当該学生及び授業担当教員に通知するものとする。

(再度の異議の申立て)

第5 学生は第4の決定に対して、再度、異議を申し立てることはできない。

(雑則)

第6 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、当該学部等において別に定める。

附 則

この要項は、平成19年 2 月 1 日から実施する。

附 則

この要項は、平成22年 4 月 1 日から実施する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から実施する。

附 則（平成26年2月1日改正）

この要項は、平成26年4月1日から実施する。

附 則（平成27年12月21日改正）

この要項は、平成27年12月21日から実施する。

附 則（平成29年9月26日改正）

この要項は、平成29年9月26日から実施し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成31年2月14日改正）

この要項は、平成31年2月14日から実施し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（令和4年3月30日改正）

この要項は、令和4年4月1日から実施する。

附 則（令和6年6月21日改正）

この要項は、令和6年6月21日から実施し、令和6年4月1日から適用する。

佐賀大学医学部試験の実施に関する内規

(令和3年12月15日 制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学医学部履修細則第5条における各授業科目の試験の実施については、この内規の定めるところによる。

(試験の実施時期)

第2条 試験を実施する場合は、試験実施の告示を原則として実施日の2週間前に掲示するものとする。

(試験の種別)

第3条 各授業科目において実施する試験の種別は、本試験、追試験及び再試験とする。

2 試験は、各授業科目の担当教員（教科主任を含む。）が実施するものとする。

(本試験)

第4条 本試験を受験できる者は、当該各授業科目の担当教員から受験資格を認められた者とする。ただし、複数の教員が担当する授業科目の場合は、当該授業科目の教科主任がその認定を行うものとする。

2 前項の規定により、本試験の受験資格を認められなかった者は、再履修をしなければならない。

3 前項の規定により、再履修を課せられた者は、再履修届を提出しなければならない。

(追試験)

第5条 追試験は、本試験の受験資格を有し、かつ、傷病その他やむを得ない理由により本試験を欠席した者で、当該授業科目の担当教員（教科主任を含む。）が認めた者に限り、受験することができるものとする。

2 前項の理由に該当し、本試験を欠席する者は、あらかじめ試験欠席届及び医師の診断書又は理由書（その理由を記載し、説明できるもの）を提出しなければならない。ただし、やむを得ない事情により、事前に提出できなかった者は、遅延理由書を添付して、可及的速やかに手続を行わなければならない。

3 追試験は、当該年度において実施される当該授業科目の再試験の際に行うものとする。

(再試験)

第6条 再試験は、本試験又は追試験の不合格者のうち、あらかじめ再試験受験願を提出した者で、当該授業科目の担当教員（教科主任を含む。）が認めた者に限り、受験することができるものとする。ただし、本試験（追試験該当者を除く。）を無断で欠席した者は、当該学期において実施される当該授業科目の再試験は受験することができない。

2 再試験は、当該授業科目の開講期内に原則として1回のみ行うものとする。

3 再試験における合格の評価は、「可」とする。ただし、次年度以降に当該授業科目を受講した場合において、その授業科目の担当教員（教科主任を含む。）が教育上の見地から必要と判断したときに限り、「可」より上位の評価を与えることができる。

(追試験又は再試験の不合格者の取扱)

第7条 当該学期内に実施される追試験又は再試験を受験し、不合格となった者は、次年度以降に実施される試験を、再試験として受験させることができる。

2 前項の規定により、再試験を受験する者は、試験科目ごとに再試験受験願を提出しなければならない。

(不正行為の取扱)

第8条 各授業科目の試験において、不正行為があった場合は、次により措置する。

(1) 試験において、不正行為と認められる行為があったときは、当該学生がその年度において受講する全ての授

業科目の履修（受講）及び試験を無効とし、原級に留めおく。ただし、前年度以前に履修（受講）した授業科目については、試験のみを無効とすることがある。

(2) 不正行為の内容によっては、佐賀大学学則第39条の規定により処分することがある。

(3) 本項の適用に疑義があるときは、教育委員会において審議する。

附 則

この内規は、令和3年12月15日から施行する。

佐賀大学医学部医学科の授業科目等の履修に係る 資格要件に関する内規

(令和3年12月15日 制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学医学部履修細則第6条における授業科目等の履修に係る資格要件については、この内規の定めるところによる。

(医学科の2年次に開講される授業科目を履修するための資格要件)

第2条 2年次に開講される授業科目を履修することができるのは、1年次の学年末までに開講される科目のうち、大学入門科目、共通基礎科目の全て及び専門教育科目の必修科目を修得した者とする。

2 前項により資格を認められなかった者は、原級に留まり、原則として未修得の科目を再履修しなければならない。

(医学科の3・4年次に開講される授業科目を履修するための資格要件)

第3条 3年次及び4年次に開講される授業科目を履修することができるのは、2年次の学年末までに開講される科目のうち、教養教育科目の全て及び専門教育科目の必修科目を修得している者とする。

2 前項により資格を認められなかった者は、原級に留まり、原則として未修得の科目を再履修しなければならない。

(医学科の臨床実習を行うための資格要件)

第4条 5年次以降に実施される臨床実習を行うことができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、健康診断の結果、実習に支障がないと認められた者とする。

(1) 4年次の学年末までに開講される授業科目のうち、教養教育科目の全て及び専門教育科目の必修科目を修得し、かつ、共用試験のCBT及びOSCEに合格した者

(2) 前号のほか、教授会において、特にその資格を認められた者

2 前項各号のいずれかに該当し、その資格を認められた者には、「Student Doctor (略称:S.D.)」の呼称を与え、臨床実習適格認定書を授与する。

3 第1項により資格を認められなかった者は、原級に留まり、原則として未修得の科目を再履修しなければならない。

(医学科の6年次に開講される総括講義を受験するための資格要件)

第5条 臨床実習に合格した者のみが総括講義を受講することができる。

(医学科の6年次に実施される臨床実習後OSCE等の取扱)

第6条 医学科を卒業するためには、佐賀大学医学部規則第13条の要件に加えて、臨床実習後OSCE及び総括講義に合格することを必要とする。

2 前項本文の規定にかかわらず、令和4年度以前に入学した者については、医学科を卒業するためには、佐賀大学医学部規則第13条の要件に加えて、臨床実習後OSCEに合格することを必要とする。

附 則

この内規は、令和3年12月15日から施行する。

附 則 (令和5年3月15日改正)

この内規は、令和5年4月1日から施行する。

佐賀大学医学部規則について

佐賀大学医学部規則は、医学部ホームページの学部内関連情報内「医学部規則・関連法規」に掲載されています。

佐賀大学学生の懲戒等実施細則

(平成23年2月9日制定)

(趣旨)

第1条 この細則は、佐賀大学学生の懲戒に関する規程（平成16年4月1日制定）第17条の規定に基づく懲戒の適正な実施及び厳重注意について必要な事項を定めるものとする。

(懲戒の標準例)

第2条 懲戒の標準例については、別表左欄に掲げる懲戒対象行為の区分及び同表中欄に掲げる行為の内容に応じて、同表右欄に掲げる懲戒の種類のとおりとする。

(懲戒の具体的な種類の決定)

第3条 前条に定める懲戒の具体的な種類の決定に当たっては、その原因となった行為の動機及び態様並びに社会に与えた影響等を、総合的に検討し、教育的観点を踏まえ判断するものとする。

(厳重注意)

第4条 学生が、懲戒対象行為以外の行為で学生としてあるまじき行為をした場合において、当該行為を行った学生の所属する学部又は研究科（以下「各学部等」という。）の長は、各学部等の教授会の議を経て、厳重注意を行うことができる。

2 厳重注意は、口頭又は文書により行うものとする。

(教育的措置)

第5条 各学部等の長は、停学又は出席停止中の学生に対して、更生のため教育的措置を講ずることができるものとする。

附 則

この細則は、平成23年2月9日から施行する。

附 則（平成28年3月25日改正）

この細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（令和6年3月1日改正）

この細則は、令和6年3月1日から施行する。

別表（第2条関係）

懲戒の標準例

区分	行 為 の 内 容	懲戒の種類
犯 罪 行 為	・殺人、強盗、不同意性交、放火、誘拐、障害等の凶悪な犯罪行為又はこれらの犯罪行為の未遂行為を行った場合	退学
	・窃盗、詐欺、恐喝、脅迫、強要、過失致死、過失傷害等の凶悪な犯罪行為を行った場合	退学又は停学
	・賭博、住居侵入、万引き、他人を傷害するに至らない暴力行為等の犯罪行為であって、刑法（明治40年法律第45号）等に抵触する場合	停学又は訓告
	・性的な迷惑行為（痴漢、のぞき見、盗撮行為等）、わいせつ行為（公然わいせつ、わいせつ物頒布等）及び性暴力行為（不同意わいせつ等）の犯罪行為であって、刑法、軽犯罪法（昭和23年法律第39号）等に抵触する場合	退学、停学又は訓告
	・ハラスメントに起因する犯罪行為を行った場合	退学、停学又は訓告
	・ストーカー行為等の規制等に関する法律（平成12年法律第81号）に抵触する行為を行った場合	退学、停学又は訓告
	・薬物犯罪（禁止薬物の使用及び不法所持並びに禁止薬物の売買又はその仲介等及び薬物となり得る植物の栽培）を行った場合	退学又は停学
	・コンピュータ又はネットワークの不正使用等による犯罪行為を行った場合（SNS犯罪、サイバー犯罪を含む。）	退学、停学又は訓告
	・上記以外の刑罰法令に触れる行為を行った場合	退学、停学又は訓告
非 違 行 為	・本学の財物に対し、故意に著しく物的損傷を与えた場合	退学又は停学
	・一気飲み等により飲酒を強制し、重大な事態に至った場合	退学又は停学
	・20歳未満の者自らの飲酒又は20歳未満の者と知りながら飲酒をすすめた場合	停学又は訓告
	・ハラスメント行為（犯罪行為以外）を行った場合	停学又は訓告
	・上記以外の非違行為	停学又は訓告
交 通 事故等 （自動 車のほ か、バ イク及 び自転 車の場 合を含 む。）	・飲酒運転（酒気帯び運転を含む。以下同じ。）、無免許運転、大幅な制限速度超過違反（制限速度30キロ以上の超過）等の悪質な運転による死亡事故又は重度の後遺症を残す人身事故を伴う交通事故を起こした場合	退学
	・ひき逃げ、あて逃げ、飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の悪質な運転による人身事故を伴う交通事故を起こした場合	退学又は停学
	・飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の悪質な交通法規違反	停学
	・前方不注意等の相当な過失のある、死亡又は重度の後遺症を残す人身事故を伴う交通事故を起こした場合	停学
	・前方不注意等の相当な過失のある、上記以外の人身事故を伴う交通事故を起こした場合	停学又は訓告
	※上記以外の反則金に該当する道路交通法（昭和35年法律第105号）違反については、懲戒処分の対象としない。	
試 験 不 正 行為等	・本学が実施する試験等における極めて悪質な行為（替え玉受験、試験問題の不正入手等）	退学又は停学
	・本学が実施する試験等における上記以外の不正行為（ノート類や携帯電話等を不正に使用したカンニング等）	停学

区分	行 為 の 内 容	懲戒の種類
試 験 不 正 行為等	・ 本学が実施する試験等における極めて悪質な行為の教唆又はほう助行為を行った場合	退学、停学又は訓告
	・ レポート等の盗作や剽窃を行った場合	停学又は訓告
	・ 試験監督者の注意又は指示に従わなかった場合（使用を許可されていない電子機器等を所持する行為等）	訓告
研究活動上の 不正行為	・ 研究活動におけるねつ造、改ざん又は倒錯を行った場合	退学、停学又は訓告
	・ 研究にかかる公的資金（研究費）を不正使用した場合	退学、停学又は訓告

4 2 年次生の学修指針等

Phase II における学修の目的と学修内容の概要

フェイスチェアパーソン 吉 田 裕 樹

Phase II は、生物、そして人体の成り立ちと仕組みに関する基礎医学、および臨床医学への橋渡しとなる、人体に作用する内的・外的因子とそれらに対する生体の反応に関する基礎医学を学ぶことにより、人体の正常な営みと病的な状態に関する医学的知識を修得するプログラムである。Phase II の学修では、生命科学における医学的知識を修得しながら、実習に参加することにより、科学的な探究心を涵養する。これらに求められる能力には、本学の「卒業時学修成果」で示す能力全般のうち、「2. 医学的知識」に関して、ヒトの正常な構造と機能、および機能的・構造的異常状態と原因、さらには治療の原理と適応を修得することや「1. プロフェッショナリズム」に示される、自己主導型学修の習慣を身に付けることに加え、「6. 科学的な探究心」で示した、医学的研究の方法論や理論を理解し遵守できる能力、未解決の医療・医学的問題に着目し、解決に取り組む姿勢、問題解決のための論理的批判的な思考、といった能力や思考法が含まれる。

このような知識と能力を涵養するため、Phase II では、まず「分子生物学」で人体の構成要素であり生命の基本単位である細胞について、その構造、働き、調節システムを分子レベル・遺伝子レベルで学び、次いでそれらの知識を元に、細胞が創る人体の成り立ちを学修する「組織学、肉眼解剖学、神経解剖学」、一つの受精卵から人体が発生、発育して成長する過程を学修する「人体発生学」、有機的な分子・細胞集合体としての人体機能の仕組みを学ぶ「生化学、生理学」を学修する。さらに、人体に対する侵略と生体防御の仕組みを学ぶ「微生物学、免疫学」、および病理的状态の仕組みと薬物治療の基本を学修する「病理学、薬理学」により、臨床医学につながる学修へと発展する。さらに、Phase III の「統合医療」で遺伝性疾患の原理およびゲノム情報を基にしたゲノム医療の基礎を学修する。また、講義で学修した知識を元にした実習を行うことにより、医学的知識の定着や科学的な探究心の涵養が図られる。これらの授業科目は、個別に完結するものではなく、全てが互いに関連することで生命科学・人体・基礎医学の総合的な理解につながる。ゆえに、自己主導型学修により各自がこれらを統合的に学習していくことが不可欠である。Phase II で習得した医学的知識や科学的探究心、自己主導型学修の習慣や、医学的研究の方法論や問題解決に関わる思考法などは、Phase III における問題解決型学習（PBL）へと発展する。

これらのカリキュラムは、Phase II の学修を単なる医学的知識の修得にとどめず、科学的探究心をもって医学的問題に取り組む実践的な能力を涵養することを意図したものであるから、その目的や方法を理解し、最大限の効果をあげることを期待する。

最後に、Phase II 履修上の注意事項を示す。

- Phase II は原則として講義の2/3以上の出席、すべての実習への出席、課題レポートの提出を持って試験の受験資格とする。
- 講義や演習、実習の欠席に関し、病気や災害その他やむを得ない事由がある場合は速やかに欠席届を提出すること。講義や実習に出席していても履修態度に問題がある場合は、出席とは認めない。提出物の形式・内容の不備、提出の遅延がある場合、提出したものとは認めない。
- 出席や試験、提出物その他に関する不正行為は、「佐賀大学学生の懲戒等実施細則」および「佐賀大学医学部の試験の実施等に関する取扱要項」に則って対処する。
- 成績判定は、「試験の佐賀大学成績判定等に関する規定」2条の2に準ずる。

令和7年度 医学科2年次 前期日程表 (※変更が生じた場合は揭示等でお知らせします)

前期開講日

	3/10	3/17	3/24	3/31	4/7	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25
月	1					組織11	組織4	組織11	組生理7	こと	組生理13	組生理17	組生理21	神解剖7	神解剖10	生化実21			組生実1						夏 季 休 業
	2					組織12	組織5	組織12	組生理8	組生理14	組生理18	組生理22	神解剖8	神解剖11	生化実22				組生実2						
	3					生化1	生化3	生化5	生化7	組生理11	組生理15	組生理19	組生理23	生化17	生化19	生化実23			組生実3						
	4					生化2	生化4	生化6	生化8	組生理12	組生理16	組生理20	組生理24	生化18	生化20	生化実24			組生実4						
	5																								

	3/11	3/18	3/25	4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26
火	1				組織6	免疫1	組生理5			免疫3	神解剖2	動生理13	動生理17	動生理21	動生理25	生化実25	組生理27		組生実5		組生実17	組生実29			
	2				組織7	免疫2	組生理6	昭	振	免疫4	神解剖4	動生理14	動生理18	動生理22	動生理26	生化実26	組生理28		組生実6		組生実18	組生実30			夏 季 休 業
	3				組実4	組生理3	免疫5	昭	和	組生理11	組生理15	組生理19	組生理23	組生理25	免疫19	生化実27			組生実7		組生実19				
	4				組実5	組生理4	免疫6	日	休	組生理12	組生理16	組生理20	組生理24	組生理26	免疫20	生化実28		生化29	組生実8		組生実20				
	5				組実6											生化30		生化30	組生実9						

	3/12	3/19	3/26	4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27
水	1				組織8	基教1	基教2	基教3	基教4	基教5	基教6	基教7	基教8	基教9	基教10	基教11	基教12	基教13	基教14	基教15	基教16				動生実1
	2				組織9	基教1	基教2	基教3	基教4	基教5	基教6	基教7	基教8	基教9	基教10	基教11	基教12	基教13	基教14	基教15	基教16				動生実2
	3				医入II3	医入II5	医入II7	免疫9	組織16	医入II10	医入II13	医入II15	医入II17	医入II19	神解剖12	医入II21	医入II23		神解剖14	免再試	風水害 予備日				動生実3
	4				医入II4	医入II6	医入II8	免疫10	組織17	医入II11	医入II14	医入II16	医入II18	医入II20	神解剖13	医入II22	医入II24		神解剖15	免再試					動生実4
	5									医入II12															

月曜代替

風水害予備

	3/13	3/20	3/27	4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28
木	1				組織1	基教1	基教2	基教3	基教4	基教5	基教6	基教7	基教8	基教9	基教10	基教11	基教12	基教13	基教14	基教15	基教16				動生実5
	2				組織2	組織10		組織14	組織15	組織22	神解剖3	神解剖4	神解剖5	神解剖9					組生実9						動生実6
	3				組実7	組実9	組実11	組実13	組実16	組実18	組実21	組実22	組実23	組実24	組実25	組実26	組実27		組生実10						動生実7
	4				組実8	組実10	組実12	組実14	組実17	組実19	組実22	組実23	組実24	組実25	組実26	組実27			組生実11						動生実8
	5				組実3					組実20	組実23								組生実12						

火曜代替

	3/14	3/21	3/28	4/4	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/29
金	1				動生理1	動生理3	免疫3	動生理7	動生理9	動生理11	生化13	動生理15	動生理19	動生理23	動生理27				組生実13						
	2				動生理2	動生理4	免疫4	動生理8	動生理10	動生理12	生化14	動生理16	動生理20	動生理24	動生理28				組生実14						
	3				組実1	組生理1	動生理5	免疫7	組織18	免疫15	免疫17	組実24	神解剖5	神解剖9	神解剖13				組生実15						神解再試
	4				組実2	組生理2	動生理6	免疫8	組織19	免疫16	免疫18	組実25	神解剖6	神解剖10	神解剖14				組生実16						神解再試
	5				組実3																				

※英語再履修クラス・水1・II

赤文字 試験予定日 (本試)

動生理 動物性機能生理学

医入II (通年)

免疫学 免疫学実習

基本教養科目 基教

組織学講義 組織学実習

神解剖 神解剖学実習

生化 生化実 生化実実習 (前日の午後も実習室予約)

組生理 植物性機能生理学

赤文字 試験予定日 (再試)

赤文字 試験予定日 (再試)

生実 動物・植物生理学合同実習

赤文字 試験予定日 (再試)

赤文字 試験予定日 (再試)

シラバスの見かた

シラバス [syllabus] は、個々の授業科目の目的、内容、目標、予定、成績評価の方法など授業の概要を書き示したもので、この学習要項では「授業科目の学習指針等」として掲載してあります。

各授業科目は、医学部の教育目的・目標に沿って年次ごとに開講、配置されていますが、その教育課程における個々の授業科目の位置付け（開講目的）や学習内容・到達目標、成績評価基準・開示方法等をシラバスで明示することにより、教育課程の内容を保証するとともに、学生が、いつ、何を、何のために、どのようにして学び、どこまで到達すべきかを知る学習指針として、重要な役割を果たすものです。

シラバスに記載されている項目の説明

【教科主任】 各授業科目の担当責任者で、教科主任の下に講義・実習等の編成、担当者の配置ならびに試験の実施と成績判定が行われます。

【科目の概要】 各学科の教育課程における当該授業科目の位置付け（開講目的）を示すとともに、この授業により何ができるようになるか（すなわち、この授業の学修がなぜ重要なのか）の総括的な目標が、卒業時学修成果との関連も踏まえて掲げられています。

【講義・実習項目】 授業科目を構成する講義・実習等の項目と、それぞれを担当する教員名が示されています。

【学修目標】 当該授業科目で修得すべき能力とそのレベルが、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」の学修目標を踏まえて具体的な表現で示されています。

【評価の方法と基準】 当該授業科目の成績評価の方法、成績判定の基準と、評価結果の開示方法が示されています。

【履修上の注意】 各授業科目を履修する上での心構え、注意等が示されています。

【テキスト等】 当該授業に必要な参考書を、次の区分に分けて紹介してあります。

- 1) テキスト：教科書として用いるもので、必ず手に入れておく必要があるもの。
- 2) 指定図書：重要な参考書として利用頻度が高く、手に入れておくことが望ましいもの。これについては、原則的に附属図書館医学分館に配架されています。
- 3) 参考書：上記以外の参考書として挙げられています。

【日程表】 当該授業科目の講義・実習等および試験の日程、担当者を掲載しています。キーワードや講義室が書かれている場合もあります。

注：医学部のシラバスは、「医学部ホームページ ⇒ 学部内関連情報（学部学生）」にも掲載してあるので、利用してください。

また、「教養教育科目」のシラバスについては、「佐賀大学ホームページのオンラインシラバス」に掲載されています。

5 授業科目の学修指針等

免 疫 学

学士力番号 1-(3)

教科主任 吉 田 裕 樹

1. 科目の概要

「免疫学」は、医学部のカリキュラム（Phase II）において、より基本的な、分子や細胞、病原微生物を対象とした科目から発展し、個体内において異物の識別・排除がどのように行われるかを学び、さらにその異常がどのような形で疾患として表れるかを、分子・細胞レベルから個体レベル、さらに臨床疾患と関連付けて学ぶ科目である。Phase II 前半に学修する分子生物学、細胞生物学における医学的知識を元に、個体がどのようにして自己と非自己（異物）を見分け、また排除すべき異物と排除する必要のない異物を見分けているのかを学び、さらに臨床の場で遭遇するさまざまな疾患の背景に、この仕組みやその異常が関与していることを科学的な探究心を持って理解することを目標とする。

2. 講義・実習項目

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
1	免疫学の歴史 免疫関連臓器・組織・細胞	免疫学	吉田 裕樹	・免疫学の歴史を理解する。 ・主要な免疫関連臓器や免疫細胞とその役割を説明できる。	講義
2	自然免疫と病原体の認識	免疫学	原 博満	自然免疫の役割と異物認識機構を説明できる。	講義
3	抗原提示と主要抗原適合遺伝子複合体	免疫学	吉田 裕樹	・獲得免疫における異物認識機構を説明できる。 ・免疫学における“自己”の定義を説明できる。	講義
4	T細胞の分化 細胞性免疫	免疫学	吉田 裕樹	獲得免疫におけるT細胞の分化機構、および細胞性免疫を説明できる。	講義
5	B細胞の分化と抗体液性免疫	免疫学	吉田 裕樹	獲得免疫におけるB細胞の分化機構、および液性免疫を説明できる。	講義
6	リンパ球抗原受容体とシグナル伝達	免疫学	原 博満	自然免疫、獲得免疫に関わる細胞の活性化機構を説明できる。	講義
7	細胞間相互作用	免疫学	石塚 茂宜	・免疫細胞間の相互作用や、その作用に必要な副刺激分子・接着分子類を説明できる。	講義
8	免疫記憶 リンパ球の選択と免疫寛容 粘膜免疫	免疫学	三宅 靖延	・免疫記憶の種類や関連分子を説明できる。 ・免疫寛容の種類と誘導機構を説明できる。 ・粘膜免疫の特殊性と関連細胞を説明できる。	講義
9	感染免疫	免疫学	見市 文香	・さまざまな病原体に対する免疫反応と病原体の免疫回避機構を説明できる。	講義
10	癌免疫 移植免疫 免疫異常	免疫学	白石 裕士	癌免疫、移植免疫、および自己免疫疾患、免疫不全症、自己炎症性疾患の種類や責任分子、発症機構を説明できる。	講義
11	免疫学実習	免疫学	吉田 裕樹 他	・用いられる免疫反応の理論や測定原理を説明できる。 ・測定機器の基本的な扱い方を理解する。	実習

3. 評価の方法と基準

1) 評価の方法

学修目標 1～13については、Phase IIに共通の評価方法に準じる。

2) 評価基準

- ・筆記試験は、本試験・再試験ともに60%の正答率を合格基準とし、試験の難易度によって調整する。
- ・実習は、出席とレポートの提出をもって合格とする。レポートは、その内容により秀・優・良・可、および不可（提出なし、または他のレポートのコピーなど）の評価を行う。
- ・最終評価は、筆記試験、実習両方の合格をもって総合判定する。

3) 試験結果の開示

- ・学生からの申請があれば、筆記試験の採点結果、実習レポートの判定について開示する。また、試験問題の解説と個別指導を行う。希望者は、試験結果発表後1月程度の期間内にオフィスアワー等の時間帯を利用して担当教員を訪ねること。

4. 履修上の注意

- ・テキストは各自で購入し、講義の際には必ず持参すること。
- ・講義中の飲食は禁止する。
- ・正当な事由のない実習の欠席は認めない。実験動物を扱う実習の場合は、犠牲となる動物に対して福祉・愛護の精神を持って実習に臨むこと。不誠実な実習態度、あるいはレポートの不正は、プロフェッショナリズムが理解できていないと判断し、試験やレポートの成績にかかわらず不合格とする。

5. テキスト等

1) テキスト

- ① 免疫学コア講義（改訂4版）熊ノ郷淳・阪口薫雄・竹田潔・吉田裕樹 編 南山堂 2018 ￥5,400

2) 参考書

- ① Janeway's Immunobiology: Kenneth Murphy. Garland Science; 8版, ￥9,456 (参考価格)
- ② Basic Immunology Updated Edition: Functions and Disorders of the Immune System With STUDENT CONSULT Online Access, Abul K. Abbas, Andrew H. Lichtman. Saunders, 3版, ￥7,808 (参考価格)
- ③ Cellular and Molecular Immunology: Abul K. Abbas, Andrew H. Lichtman, Shiv Pillai. Elsevier Health, 7版, ￥4,875 (参考価格)
- ④ Microbiology: Bernald D. Davis. Lippincott 1990 ￥13,000 (参考価格)

6. 日程表

No.	月日(曜)	時限	項目	担当者	キーワード	授業形態	方法等	講義室
1	4月15日 (火)	1,2	免疫学の歴史	吉田	二度なし, 天然痘, ジェンナー, 抗毒素, 北里柴三郎	講義	対面	第2講義室
2			免疫関連臓器・組織・細胞	吉田	胸腺, 骨髄, リンパ節, 脾臓, Tリンパ球, Bリンパ球, 樹状細胞, マクロファージ, NK細胞			

No.	月日(曜)	時限	項目	担当者	キーワード	授業形態	方法等	講義室
3	4月18日 (金)	3,4	自然免疫と病原体の認識	原*	上皮バリア, 貪食細胞, 補体, NK細胞, PAMPs, DAMPs, アジュバント, I型インターフェロン, 炎症性サイトカイン, パターン認識受容体, 樹状細胞の成熟	講義	対面	第2講義室
4								
5	4月22日 (火)	1,2	抗原提示	吉田	抗原, エピトープ, 樹状細胞, マクロファージ, クロスプレゼンテーション	講義	対面	第2講義室
6			主要組織適合遺伝子複合体	吉田	MHC, クラス I 分子, クラス II 分子, ペプチド			
7	4月25日 (金)	3,4	Tリンパ球と細胞性免疫	吉田	T細胞受容体, 遺伝子再構成, 対立遺伝子排除, ヘルパーT細胞, 細胞傷害性T細胞, 免疫記憶	講義	対面	第2講義室
8			T細胞の分化と細胞性免疫	吉田	抗原提示細胞, T細胞, B細胞, Th1, Th2, Th17, 炎症			
9	4月30日 (水)	3,4	Bリンパ球と液性免疫	吉田	B細胞受容体, 抗体, クラススイッチ, Fcレセプター	講義	対面	第2講義室
10			抗体と液性免疫	吉田	抗体, クラススイッチ, サブクラス, モノクローナル抗体, 検査・治療			
11	5月2日 (金)	3,4	免疫細胞受容体とシグナル伝達	原*	抗原受容体シグナル, 共刺激分子, ITAM, ITIM, NFAT, NF- κ B, AP-1, 免疫シナプス, 接着分子, 細胞骨格, チェックポイント分子, サイトカイン受容体, TNF受容体, TLR	講義	対面	第2講義室
12			細胞間相互作用	石塚	サイトカイン, ケモカイン, 接着分子, 抗原提示, リンパ節			
13	5月13日 (火)	1,2	免疫記憶抗原認識レパートリー形成	三宅	T/B細胞, セントラル/エフェクターメモリー, ワクチン, 抗原受容体, ランダム, 選抜	講義	対面	第2講義室
14			免疫寛容粘膜免疫	三宅	中枢性/末梢性免疫寛容, 制御性T細胞, 免疫特権部位, IgA, 自然リンパ球, 腸内細菌叢			
15	5月16日 (金)	3,4	宿主と病原体の攻防	見市*	宿主と病原体の相互反応, 細菌感染, ウイルス感染, 真菌感染, 寄生虫感染	講義	対面	第2講義室
16			癌免疫、移植免疫と免疫異常	白石*	癌抗原, MHC, 拒絶, 自己免疫(疾患), アレルギー, 免疫不全(症), 炎症性疾患			
17,18	5月23日 (金)	3,4	実習	吉田他	(予定)	実習	対面	第3実習室
17,18	5月26日 (月)	3,4	実習	吉田他	(予定)	実習	対面	第3実習室
19,20	6月17日 (火)	3,4	試験	吉田他	(予定)	試験	対面	臨床大講堂
	7月23日 (水)	3,4	再試	吉田他	(予定)	試験	対面	試験室 看護学科6階

* 学外非常勤講師

7. リソースパーソン／担当者一覧

分子生命科学 免疫学 吉田裕樹 三宅靖延 石塚茂宜

(連絡先は巻末参照)

分子生命科学 免疫学 (鹿児島大学) 原博満 (長崎大学) 見市 (三田村) 文香 (大分大学) 白石裕士

組 織 学

学士力番号 1-(3)

教科主任 城 戸 瑞 穂

1. 科目の概要

医学の基礎は、正常な人体の成り立ちを知ることである。組織学では、私たちの身体がどのような細胞、組織、器官の特徴を備え、それらが多様な連携をしながら機能を発揮するのかを学ぶ。さらに、それらが損なわれるとどのような異常が起こるのかも知ることによって理解を深める。多様な生命現象を組織学的見地から適切に理解し、違いを見出し、適切な専門用語を用いて言語化する力を修得してはじめて、診断の基礎となる力が涵養される。

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	学修目標	形式
1	組織学総論・各論	人体の成り立ちを形態学的な特徴と機能を関連付けて説明できる。	講義
		臓器を構成する組織の構築を説明できる。	講義
		①上皮・腺組織、②支持組織、③筋組織、④神経組織、それぞれの特徴および恒常性維持や生体防御にかかわる機能を構成する細胞の成り立ちから説明できる。	講義
		細胞の挙動が分子により調節される仕組みを、分子細胞生物学および細胞生物学的に専門用語を用いて説明できる。	講義
		各器官や臓器に特有の細胞生物学的・組織学的な特徴を、機能と関連付けて理解し説明できる。	講義
2	組織学実習	顕微鏡技術の利点と限界を理解する。	実習
		組織標本を光学顕微鏡で観察し、臓器・組織のそれぞれの構造・形態の成り立ちや差を自らの目で判断できる観察力を身につけ、形態と機能の関係を考察できる。	実習
		多様な顕微鏡より得られた像から、組織・細胞の構造を説明できる。	実習
		組織標本の作製法、染色法、組織化学的方法等を理解し、適切な観察と判断ができる。	実習
		標本や実習機器を大切に取り扱い、班のメンバーと協力しながら互いの学修効果が高まるよう行動する。	実習

3. 評価の方法と基準

1) 評価方法

- ・学修目標に基づき、中間試験（30%）、期末試験（40%）、実習試験（30%）、実習出席状況、個人およびグループ課題の提出、講義や実習中の態度等による総合評価
- ・実習は補講ができないため全てに出席が必要であり、試験欠席者への追試験は原則として実施しないので、体調管理にも努めること。

2) 評価基準

- ・Phase II 共通基準
- ・筆記試験および総合判定は概ね6割以上を合格とする。

3) 評価結果の開示

- ・試験結果発表後1月以内に、希望者には評価の説明を行う。オフィスアワー等を利用して担当教員を訪ねること。

4. 履修上の注意

学修の準備（心や身体、教科書、実習に必要なもの等）を整えて、講義および実習に臨むこと。

組織学では細胞、組織、臓器、個体と異なる大きさで観察し、形の違いを見抜く力を備えることが目標である。適切な生理機能発揮のためにはどのような形態が相応しいのかを楽しみながら学ぶことで、目標が達成できる。教科書を読み込み、講義を受講し、重要な点を書いてみることで、そして、実習書を読み、実習用予習動画を視聴して実習に臨み、班での活発な議論に貢献しながら協働学習を行うことで、学修効果がより高まるようにカリキュラムが設計されている。

組織学は、1年次の「肉眼解剖学概説」、「人体発生学」、「分子生物学」と密接に関連している。また同時期に開講される「動物性機能生理学」、「植物性機能生理学」、「生化学」などとともに総合的に理解を深めることが重要である。

なお、正当な事由のない実習の欠席は認めない。また不誠実な学習態度や協働学習への非協力、不正行為、倫理的に問題ある行為（SNS発信を含む）などがみられた場合は、成績にかかわらず不合格とする。

5. テキスト等

1) テキスト

下記のいずれかを教科書として購入し、読了すること。

- ① 組織細胞生物学 A. L. Kierszenbaum, L. L. Tres 著 内山安男 監訳 南江堂 2022 ￥11,550
- ② 標準組織学 総・各論 藤田恒夫・藤田尚男 共著 医学書院 総論 2022 第6版 ￥9,020, 各論 2022 第6版 ￥12,100
- ③ Ross組織学（原書第7版） M.H. Ross & W. Pawlina 著 内山安男・相磯貞和 翻訳 2019 南江堂 ￥10,120

2) 参考書

- ① ジュンケイラ組織学 第6版（原書16版） Anthony L. Mescher 著 坂井建雄・川上速人 監訳 2024 丸善出版 ￥11,000
- ③ バーチャルスライド 組織学 改訂版 駒崎伸二 著 2025 羊土社 ￥15,400

6. 日 程 表

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当	キーワード	授業 形態	方法等	講義室			
1	4月3日 (木)	1	オリエンテーショ ン	城戸	組織学の学び方細胞-組織-器官, 上 皮の分類, 細胞の極性, 細胞の増殖と 分化, 腺, 外分泌と内分泌	講義	対面	第2 講義室			
2		2	上皮・腺組織	城戸							
3		5	結合組織	城戸					結合組織の分類, 膠原線維, 細網線維, 弾性線維, 基質, 線維芽細胞, 脂肪細胞, 形質細胞, 肥満細胞, 血球		
4	4月4日 (金)	3	実習(皮膚・粘 膜)	城戸 吉本 石井 村田* 太田*	指の皮膚, 食道・胃噴門部	実習	対面	第2 実習室			
5		4									
6		5									
7	4月7日 (月)	1	骨・軟骨組織	城戸	骨の細胞, 骨細胞, 破骨細胞, 骨芽細胞, 骨形成と骨吸収, 軟骨内骨化, 膜 内骨化, 軟骨の分類	講義	対面	第2 講義室			
8		2	筋組織	城戸	骨格筋, 筋線維, 運動終板, 筋紡錘, 心 筋, 特殊心筋, 介在板, 平滑筋						
9	4月8日 (火)	1	血液・リンパ・ 脈管組織	城戸	血液, リンパ, 組織液, 造血幹細胞, 骨 髄球, 赤血球, 白血球, 血小板, リンパ 球, 造血、脈管の構成と循環, 血管の 種類と特性, 動脈, 静脈, リンパ管, 血 球と分化, 免疫系細胞	講義	対面	第2 講義室			
10		2	リンパ組織	城戸	リンパ小節, リンパ節, 脾臓, 胸腺						
11		3	実習(軟骨・骨・ 筋)	城戸 吉本 石井 村田*	大腿骨, 胎児の指の骨, 胎児の顔面頭 蓋, 骨格筋・心筋	実習	対面	第2 実習室			
12		4									
13		5									
14	4月9日 (水)	1	神経組織	城戸	ニューロン, グリア, ミエリン, シナ プス, 髄膜, 髄鞘, 神経線維, 神経節, 血液脳関門, 感覚, 運動, 神経伝導	講義	対面	第2 講義室			
15		2									
16	4月10日 (木)	2	感覚器組織	城戸	皮膚の感覚装置, 味覚器, 味蕾, 嗅覚器	講義	遠隔				
17		3	実習(血液・リ ンパ)	城戸 吉本 石井 村田* 太田*	血液塗沫, 大腿動静脈, 上行大動脈, リンパ節, 脾臓				実習	対面	第2 実習室
18		4									
19	4月14日 (月)	1	感覚器組織	城戸	視覚器, 眼球の発生, 眼球の層構造, 網膜, 聴覚器, 蝸牛, コルチ器, 平衡感 覚器, 平衡斑, 膨大部稜	講義	遠隔				
20		2									
21	4月17日 (木)	3	実習(神経)	城戸 吉本 石井 村田* 太田*	感覚神経節, 神経周膜, 神経軸索, 髄鞘	実習	対面	第2 実習室			
22		4									
23	4月21日 (月)	2	組織学中間試験	城戸 他		試験	対面	臨床 大講堂			
24	4月24日 (木)	2	消化器組織	吉本	口腔, 唾液腺, 咽頭	講義	対面	第2 講義室			
25		3	実習(感覚器)	城戸 吉本 石井 村田*	眼球, 内耳, 舌	実習	対面	第2 実習室			
26		4									
27	5月1日 (木)	2	消化器組織	城戸	食道, 胃, 小腸, 大腸	講義	遠隔				

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当	キーワード	授業形態	方法等	講義室
28	5月1日 (木)	3	実習(消化器)	城戸 吉本 石井 村田*	顎下腺, 胃底部, 胃幽門部と十二指腸, 空腸, 回腸結腸, 虫垂	実習	対面	第2 実習室
29		4						
30		5						
31	5月7日 (水)	3	消化器組織	城戸	肝臓, 胆嚢, 膵臓, ランゲルハンス島, 消化管内分泌	講義	遠隔	
32		4	呼吸器組織	石井	鼻, 喉頭, 声帯, 気管, 気管支, 肺	講義	対面	第2 講義室
33	5月8日 (木)	3	実習(消化器・ 呼吸器)	城戸 吉本 石井 村田*	肝臓, 膵臓, 胆嚢, 消化管内分泌, 喉頭, 気管, 肺	実習	対面	第2 実習室
34		4						
35	5月9日 (金)	3	泌尿器組織	城戸	ネフロン, 腎糸球体, 尿細管, 糸球体 傍複合体, 尿管, 膀胱, 尿道	講義	遠隔	
36		4	内分泌組織	城戸	下垂体, 甲状腺			
37	5月12日 (月)	1	内分泌組織	城戸	上皮小体, 副腎, パラガングリオン, 松果体	講義	遠隔	
38		2	生殖器組織	城戸	精巣, 精子形成, 精巣上体, 精管, 精嚢, 前立腺, 陰茎			
39	5月15日 (木)	2	生殖器組織	城戸	卵巣, 卵胞, 卵管, 子宮, 胎盤, 膣	講義	遠隔	
40		3	実習(泌尿器・ 内分泌)	城戸 吉本 石井 村田*	腎臓, 尿管, 膀胱 下垂体, 甲状腺, 上皮小体, 副腎	実習	対面	第2 実習室
41		4						
42		5						
43	5月22日 (木)	3	実習(生殖器)	城戸 吉本 石井 村田*	精巣・精巣上体, 前立腺, 卵巣	実習	対面	第2 実習室
44		4						
45		5						
46	5月30日 (金)	3	実習(総括)	城戸 吉本 石井		実習	対面	第2 実習室
47		4						
48	6月26日 (木)	3	組織学試験(実 習含む)	城戸 他		試験	対面	CP室
49		4						
50	9月4日 (木)	1	再試験	城戸 他		試験	対面	試験室 看護学科6階
51		2						

* 学外非常勤講師

7. リソースパーソン/担当者一覧

1) 組織学

生体構造機能学 城戸 瑞穂

2) 組織学実習

生体構造機能学 城戸 瑞穂

吉本 怜子

石井 由美子

(非常勤講師) 村田 祐造

(非常勤講師) 太田 啓介

神 経 解 剖 学

学士力番号 1－(3)

教科主任 城 戸 瑞 穂

1. 科目の概要

神経系は全身の感覚、運動、恒常性、精神活動など、人体の全ての機能を司っている。近年、脳神経障害や精神神経疾患への理解の広まりもあいまり患者数は増加し、神経科学への理解の重要性は増している。「神経解剖学」では、神経系の構成と脳・脊髄の構造を学び、神経生理学や機能・系統別PBL科目で学修する神経内科学、脳外科学、精神神経学、小児神経学などの基礎を修得することを目的とする。また篤志献体の精神を重く受け止めながら、神経系の構造と機能について真摯な態度で学ぶことで、知識や技術に加えて、医師としての高い倫理観や想像力を身につける。また、現在の神経科学の進歩や課題を理解することは、明日の医療への課題抽出および解決にむけ取り組むことのできる洞察力に繋がることを理解する。

2. 講義項目および学修目標

No.	講義実習項目	学修目標	形式
1	神経系の構造と機能	中枢神経系と末梢神経系の構成を説明できる。	講義 実習
		脳の血管支配、髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。	
2	脳・脊髄	大脳、脳幹、小脳、脊髄の構造と機能局在を説明できる。	講義 実習
3	運動系伝導路	運動系神経路を、大脳皮質と大脳基底核、小脳・脊髄の構造および機能と関連させ説明できる。	講義 実習
4	感覚系伝導路	体性感覚と特殊感覚の受容と伝導路を、脳・脊髄の構造および機能と関連させ説明できる。	講義 実習
5	自律神経系伝導路 本能行動	交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を説明できる。	講義 実習
		ストレス反応と本能・情動行動の発現機序を説明できる。	講義 実習

3. 評価の方法と基準

1) 評価方法

- ・学修目標に基づき、筆記試験、実習出席状況、個人およびグループ課題の提出、講義や実習中の態度等による総合評価
- ・実習は補講ができないため全てに出席が必要である。また、試験欠席者への追試験は原則として実施しない。体調管理にも努めること。

2) 評価基準

- ・Phase II 共通基準
- ・筆記試験および総合判定は概ね6割以上を合格とする。

3) 評価結果の開示

- ・希望者には答案等に基づき評価の説明を行う。試験結果発表後1月以内に、オフィスアワー等の時間帯を利用して担当教員を訪ねること。

4. 履修上の注意

「肉眼解剖学」,「組織学」,「生理学」と関連させ、中枢神経系と末梢神経系が身体の動きや感覚、恒常性維持にどのように機能しているかを理解すること。

教科書や参考書による予習、実習、そして復習を繰り返すことで適切な学びが得られる。

なお、正当な事由のない実習の欠席は認めない。また不誠実な学習態度や協働学習への非協力、不正行為、倫理的に問題ある行為（SNS発信を含む）などがみられた場合は、成績にかかわらず不合格とする。

5. テキスト等

1) テキスト

下記のいずれかを教科書として購入すること。

- ① 解剖学講義 改訂第3版 伊藤隆 原著 高野廣子 改訂 南山堂 2012 ￥12,100
- ② 神経解剖学講義ノート 寺島俊夫ほか 金芳堂 2011 ￥5,060
- ③ 臨床神経解剖学 原著第8版 M.J.T. Fitzgerald, G. Gruener, E. Mtui 著 井出千束 監訳 杉本哲夫 他訳 エルゼビア・ジャパン株式会社 2022 ￥10,780

2) 参考書

- ① 臨床のための脳と神経の解剖学 Paul A. Youngら 著 村上徹・櫻井武 監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2019 ￥7,480
- ② ハインズ神経解剖学アトラス 第5版 Duane E. Haines 著 佐藤二美 訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2020 ￥7,150

6. 日 程 表

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当	キーワード	授業形態	方法等	講義室
1	5月20日(火)	1	神経系の構成	城戸	中枢神経系(大脳, 間脳, 中脳, 橋, 延髄, 小脳, 脊髄), 末梢神経系, 脳神経, 脊髄神経, 灰白質, 白質	講義	対面	第2講義室
2		2	血管系と脳室系		神経核, 脳室, 髄膜, 脳の血管, 脳脊髄液, 血液脳関門			
3	5月22日(木)	2	脊髄	城戸	頸髄, 胸髄, 腰髄, 仙髄, 脊髄灰白質, 脊髄白質, 前根, 後根, 馬尾	講義	遠隔	
4	5月29日(木)	2	脳幹	城戸	延髄, 橋, 中脳, 脳神経, 神経核, 網様体	講義	遠隔	
5		3	実習 (脳・脊髄外観, 血管)	城戸 吉本 石井 村田*	脳と脳幹, 脳神経, 脳の血管, Willisの動脈輪, 脊髄の血管	実習	対面	解剖実習室
6		4						
7	6月5日(木)	2	小脳	城戸	小脳皮質, 小脳核, 小脳脚, 第四脳室	講義	遠隔	
8		3	実習 (大脳, 脳室, 脳幹)	城戸 吉本 石井 村田*	脳室, 脳弓, 大脳基底核, 視床, 脳幹の外観	実習	対面	解剖実習室
9		4						
10	6月6日(金)	3	実習 (脊髄・脳幹)	城戸 吉本 石井 村田*	脊髄、延髄、脳神経核	実習	対面	第2実習室
11		4						
12		5	特別講義	松本*		講義	遠隔リアルタイム	第2講義室

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当	キーワード	授業形態	方法等	講義室
13	6月9日(月)	1	自律神経系	城戸	間脳, 第三脳室, 視床, 視床下部, 下垂体, 視床下部, 自律神経性神経核, 節前神経, 節後神経, 交感神経系, 副交感神経系	講義	遠隔	
14		2						
15	6月12日(木)	2	大脳	城戸	大脳皮質, 機能局在, 大脳髄質, 大脳基底核, 内包, 視床核, 辺縁系, 側脳室	講義	遠隔	
16		3	実習 (小脳, 脳幹, 伝導路)	城戸 吉本 石井 村田*	小脳, 脳幹, 橋, 延髄, 第4脳室および周囲の構造, 伝導路	実習	対面	解剖 実習室
17		4						
18	6月13日(金)	3	実習 (大脳・小脳)	城戸 吉本 石井 村田*	大脳皮質, 機能局在, 大脳髄質, 大脳基底核, 内包, 視床核, 辺縁系, 側脳室	実習	対面	第2 実習室
19		4			小脳皮質, 小脳核, 小脳脚, 第四脳室			
20	6月16日(月)	1	大脳辺縁系	城戸	嗅脳, 海馬, 扁桃体, 大脳髄質, 大脳基底核	講義	遠隔	
21		2	下行性伝導路	城戸	皮質脊髓路(錐体路), 皮質延髄路, 網様体脊髓路, 前庭脊髓路, 視蓋脊髓路, 運動野・大脳基底核			
22	6月18日(水)	3	上行性伝導路	城戸	皮膚感覚, 深部感覚, 特殊感覚	講義	対面	臨床 小講堂3
23		4						
24	6月20日(金)	3	特別講義	藤山*	大脳基底核と運動調節、報酬系伝導路	講義	遠隔	リアル タイム
25		4						
26	7月16日(水)	3	試験	城戸 他		試験	対面	試験室 看護学科6階
27		4						
28	8月29日(金)	3	再試験	城戸 他		試験	対面	試験室 看護学科6階
29		4						

* 学外非常勤講師

7. リソースパーソン/担当者一覧

(担当者)

生体構造機能学 城戸 瑞穂
吉本 怜子
石井 由美子
(非常勤講師) 村田 祐造
(非常勤講師) 藤山 文乃
(非常勤講師) 松本 俊彦

肉 眼 解 剖 学

学士力番号 1-(3)

教科主任 倉 岡 晃 夫

1. 科目の概要

肉眼解剖学は、正常な人体の肉眼レベルの構造を正確に知ることが目的とする。人体がどのような器官で構成され、どのように組み合わせられて機能しているのかを、人体を実際に解剖・観察しながら理解し、得られた医学的知識を他のPhase II 科目の知識と統合していくことで、病態の理解やベッドサイドにおける問題解決に応用可能な“医学的推論”の思考基盤を確立できる。特に本科目で修得すべき知識量は膨大であるが、これらを効率的に学び、かつ医学的推論に応用できるレベルに到達するためには、自己主導型の学修習慣を一刻も早く身に付けることが肝要である。また、献体者の篤志を理解し、これに報いようと努力する姿勢は、患者中心の医療を推進できる誠実で責任感を持った医師の姿につながる。このような、医学生が有すべきプロフェッショナリズムに加え、ご遺体にしばしば出現する様々な破格について、文献等に基づく合理的な解釈を試みる姿勢は、科学的な探求心の醸成につながることも意識しておくべきである。

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	学修目標	形式
1	骨学	骨の名称や形態的特徴につき、解剖学用語を用いて、あるいは模式図を示して説明できる。	講義 実習
2	肉眼解剖学	①人体の構造の名称、形態、位置関係につき、解剖学用語を用いて、あるいは模式図を示して説明できる。 ②構造に立脚した臓器・器官の特性を説明できる。 ③ご遺体の解剖所見と、成書に記載されている所見との対応を確認し、問題点を解決できる。	講義 実習

3. 評価の方法と基準

1) 受験資格

Phase II 共通の出席・レポート提出に係る基準をクリアし、かつ適切な態度で履修している者を最終評価の対象とし、必要に応じて再試験の受験資格を与える。

2) 評価基準

- ・従来の最終試験に相当する試験は実施しない。学修目標1, 2については、骨学試験、確認テスト、脳神経試験、実習スケッチ、態度等による総合評価を行う。なお、各回の試験欠席者に対する追試験等の救済措置は実施しないので、実習期間中は体調管理に万全を期し、部活動での受傷防止や交通安全にも努めること。
- ・概ね60%の得点を合格基準とし、試験の難易度によって調整する。
- ・スケッチは、評価基準を明示した上で、ルーブリック (Rubric) 評価法を用いて得点を算出する。

3) 評価結果の開示

- ・希望者には、試験答案の採点結果、配点、成績等の解説と個別指導を行う。試験結果発表後1ヶ月以内に、オフィスアワー等の時間帯を利用して担当教員を訪ねること。

4. 履修上の注意

- ・ 正当な事由のない実習の欠席は認めない。不誠実な実習態度、他の班員との協力姿勢に改善がみられない学生、不正行為を行った学生、SNS等を通じて倫理的に問題ある行為に及んだ学生などは、プロフェッショナルリズムに欠けると判断し、試験の成績にかかわらず不合格とする。
- ・ 授業や参考書で学んだ知識を実習で検証することにより、人体構造の具体的な理解を深めていく。解剖実習は指定の実習書（グラント解剖学実習）に準拠して進行していくが、学習効果を高めるため、日程表に掲げた項目についてテキストやアトラスを用いて予習・復習を行うことが不可欠である。特に、骨学実習で学ぶ知識は、解剖実習を効果的に行っていく上で、諸君らが考えている以上に重要であることを認識しておくこと。
- ・ 神経解剖学実習に先立って、実習用品の共同購入申し込みを受け付ける。掲示連絡に注意しておくこと。

5. テキスト等

1) 指定テキスト

- ① 骨学実習アトラス 高井省三著 日本医事新聞社 2010 ￥3,960
- ② グラント解剖学実習 改訂版 アラン・J・デットン編・勝山裕監訳 西村書店 2019 ￥5,280

2) 解剖アトラス（いずれかを必ず一冊入手しておくこと）

- ① プロメテウス解剖学コアアトラス 坂井建雄監訳 第4版 医学書院 2022 ￥10,450
- ② ネットー解剖学アトラス 相磯貞和・今西宣晶監訳 原書第7版 南江堂 2022 ￥11,000
- ③ グラント解剖学図譜 坂井建雄監訳 第8版 医学書院 2022 ￥16,500
- ④ グレイ解剖学アトラス 秋田恵一訳 原著第3版 エルゼビア・ジャパン 2021 ￥11,000

3) 参考書（他の書籍でも構わないが、必ず一冊入手しておくこと）

- ① 解剖学講義 伊藤隆原著 改訂3版 南山堂 2012 ￥12,100
- ② グレイ解剖学 秋田恵一訳 原著第4版 エルゼビア・ジャパン 2019 ￥13,200
- ③ 臨床のための解剖学 佐藤達夫監訳 第3版 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2024 ￥15,950

6. 日 程 表

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
1	9月1日 (月)	1	骨学講義	倉岡	体幹骨,四肢骨,頭蓋	講義	対面	第2 講義室
2		2						
3	"	3	骨学実習1	倉岡・菊池・ 川久保	体幹骨	実習	対面	2階 実習室
4		4						
5	9月2日 (火)	3	骨学実習2	倉岡・菊池・ 川久保	四肢骨	実習	対面	2階 実習室
6		4						
7	9月3日 (水)	3	骨学実習3	倉岡・菊池・ 川久保	頭蓋	実習	対面	2階 実習室
8		4						
9	9月4日 (木)	3	解剖実習ガイダンス	倉岡	献体	講義	対面	第2 講義室
10		4						
11	9月8日 (月)	2	肉眼解剖学講義1	菊池	皮膚の構築,頸部①	講義	対面	第2 講義室
12	"	3	解剖実習1	倉岡・菊池・ 川久保	皮膚切開,胸筋部・前外側腹壁 の皮下組織	実習	対面	1階 実習室
13		4						

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
14	9月9日 (火)	3	解剖実習 2	倉岡・菊池・ 川久保	後頸三角, 前頸三角1	実習	対面	1 階 実習室
15		4						
16	9月11日 (木)	2	肉眼解剖学講義 2	菊池	頸部②, 胸壁	講義	対面	第 2 講義室
17	〃	3	解剖実習 3	倉岡・菊池・ 川久保	前頸三角2, 上肢の表在静脈・皮 神経	実習	対面	1 階 実習室
18		4						
19	9月12日 (金)	3	解剖実習 4	倉岡・菊池・ 川久保	乳房, 胸筋部の筋群	実習	対面	1 階 実習室
20		4						
21	9月16日 (火)	2	肉眼解剖学講義 3	菊池	頸部③	講義	対面	第 2 講義室
22	〃	3	解剖実習 5	倉岡・菊池・ 川久保	頸根	実習	対面	1 階 実習室
23		4						
24	9月18日 (木)	2	肉眼解剖学講義 4	菊池	背部①	講義	対面	第 2 講義室
25	〃	3	解剖実習 6	倉岡・菊池・ 川久保	背部の皮膚切開	実習	対面	1 階 実習室
26		4						
27	9月19日 (金)	2	肉眼解剖学講義 5	菊池	上肢①, 腋窩	講義	対面	第 2 講義室
28	〃	3	解剖実習 7	倉岡・菊池・ 川久保	背部浅層の筋群, 肩甲部, 上腕の 後区画	実習	対面	1 階 実習室
29		4						
30	9月22日 (月)	1	骨学試験	倉岡・菊池・ 川久保	—	試験	対面	試験室 看護学科6階
31		2						
32	〃	3	解剖実習 8	倉岡・菊池・ 川久保	腋窩	実習	対面	1 階 実習室
33		4						
34	9月25日 (木)	2	肉眼解剖学講義 6	菊池	上肢②	講義	対面	第 2 講義室
35	〃	3	解剖実習 9	倉岡・菊池・ 川久保	上腕と肘窩	実習	対面	1 階 実習室
36		4						
37	9月26日 (金)	3	解剖実習10	倉岡・菊池・ 川久保	前腕の屈筋領域	実習	対面	1 階 実習室
38		4						
39	9月29日 (月)	2	肉眼解剖学講義 7	倉岡	胸壁, 胸部内臓①	講義	対面	第 2 講義室
40	〃	3	解剖実習11	倉岡・菊池・ 川久保	手掌, 前腕の伸筋領域と手背	実習	対面	1 階 実習室
41		4						
42	9月30日 (火)	3	解剖実習12	倉岡・菊池・ 川久保	肋間隙と肋間筋, 前胸壁の切除, 胸膜腔, 肺	実習	対面	1 階 実習室
43		4						
44	10月2日 (木)	2	肉眼解剖学講義 8	倉岡	胸部内臓②, 縦隔	講義	対面	第 2 講義室
45	〃	3	解剖実習13	倉岡・菊池・ 川久保	縦隔, 心臓の外景	実習	対面	1 階 実習室
46		4						
47	10月3日 (金)	3	解剖実習14	倉岡・菊池・ 川久保	心臓の内景, 上縦隔, 甲状腺と上 皮小体	実習	対面	1 階 実習室
48		4						
49	10月6日 (月)	2	肉眼解剖学講義 9	倉岡	腹壁, 腹膜腔	講義	対面	第 2 講義室
50	〃	3	解剖実習15	倉岡・菊池・ 川久保	前外側腹壁の筋群, 腹壁の翻転	実習	対面	1 階 実習室
51		4						
52	10月7日 (火)	3	解剖実習16	倉岡・菊池・ 川久保	腹膜と腹膜腔, 腹腔動脈1	実習	対面	1 階 実習室
53		4						

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
54	10月9日 (木)	2	肉眼解剖学講義10	倉岡	腹部内臓①	講義	対面	第2 講義室
55	〃	3	解剖実習17	倉岡・菊池・ 川久保	腹腔動脈2, 胃, 脾臓, 肝臓, 胆嚢	実習	対面	1階 実習室
56		4						
57	10月10日 (金)	3	解剖実習18	倉岡・菊池・ 川久保	上腸間膜動脈と小腸, 下腸間膜 動脈と大腸	実習	対面	1階 実習室
58		4						
59	10月14日 (火)	1	肉眼解剖学講義11	倉岡	脳神経講義①	講義	対面	第2 講義室
60	〃	2	肉眼解剖学講義12	倉岡	腹部内臓②	講義	対面	
61	〃	3	解剖実習19	倉岡・菊池・ 川久保	十二指腸, 膵臓, 肝門脈, 胃腸管 の取り出し	実習	対面	1階 実習室
62		4						
63	10月16日 (木)	2	肉眼解剖学講義13	倉岡	腹部内臓③, 後胸壁	講義	対面	第2 講義室
64	〃	3	解剖実習20	倉岡・菊池・ 川久保	後腹膜臓器, 後縦隔	実習	対面	1階 実習室
65		4						
66	10月17日 (金)	2	肉眼解剖学講義14	倉岡	後腹壁	講義	対面	第2 講義室
67	〃	3	解剖実習21	倉岡・菊池・ 川久保	後腹壁, 横隔膜	実習	対面	1階 実習室
68		4						
69	10月20日 (月)	1	肉眼解剖学講義15	倉岡	脳神経講義②	講義	対面	第2 講義室
70	〃	2	肉眼解剖学講義16	倉岡	背部②	講義	対面	第2 講義室
71	〃	3	解剖実習22	倉岡・菊池・ 川久保	背部中間層・深層の筋, 後頭下 部	実習	対面	1階 実習室
72		4						
73	10月21日 (火)	3	解剖実習2	本山(非常勤)	特別講義	講義	対面	第2 講義室
74		4						
75	10月23日 (木)	2	肉眼解剖学講義17	倉岡	背部③, 頭部①	講義	対面	第2 講義室
76	〃	3	解剖実習24	倉岡・菊池・ 川久保	脊柱管, 脊髄, 髄膜, 顔面	実習	対面	1階 実習室
77		4						
78	10月24日 (金)	3	解剖実習25	倉岡・菊池・ 川久保	硬膜の折れ込みと硬膜静脈洞, 頭蓋窩	実習	対面	1階 実習室
79		4						
80	10月27日 (月)	1	肉眼解剖学講義18	倉岡	脳神経講義③	講義	対面	第2 講義室
81	〃	2	肉眼解剖学講義19	倉岡	頭部②	講義	対面	第2 講義室
82	〃	3	解剖実習26	倉岡・菊池・ 川久保	頭蓋の内部(頭蓋冠の切り離し は除く), 環椎後頭関節, 頭蓋の 脱関節	実習	対面	1階 実習室
83		4						
84	10月28日 (火)	3	解剖実習27	倉岡・菊池・ 川久保	咽頭(頭部切半), 喉頭	実習	対面	1階 実習室
85		4						
86	10月30日 (木)	2	肉眼解剖学講義20	倉岡	頭部③	講義	対面	第2 講義室
87	〃	3	解剖実習28	倉岡・菊池・ 川久保	耳下腺領域, 側頭部	実習	対面	1階 実習室
88		4						
89	10月31日 (金)	3	解剖実習29	倉岡・菊池・ 川久保	眼窩	実習	対面	1階 実習室
90		4						

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
91	11月4日 (火)	3	肉眼解剖学講義21	川久保	頭部④	講義	対面	第2講義室
92	〃	4	解剖実習30	倉岡・菊池・ 川久保	鼻と鼻腔, 硬口蓋と軟口蓋	実習	対面	1階 実習室
93		5						
94	11月6日 (木)	2	肉眼解剖学講義22	川久保	頭部⑤, 骨盤部①	講義	対面	第2講義室
95	〃	3	解剖実習31	倉岡・菊池・ 川久保	口部, 耳	実習	対面	1階 実習室
96		4						
97	11月7日 (金)	3	解剖実習32	倉岡・菊池・ 川久保	男性: 外生殖器と会陰, 尿生殖 三角女性: 骨盤腔	実習	対面	1階 実習室
98		4						
99	11月10日 (月)	1	肉眼解剖学講義23	川久保	骨盤部②	講義	対面	第2講義室
100	〃	2	肉眼解剖学講義24	倉岡	骨盤部③, 下肢①	講義	対面	第2講義室
101	〃	3	解剖実習33	倉岡・菊池・ 川久保	男性: 骨盤腔, 膀胱, 直腸, 肛門 管女性: 膀胱, 直腸, 肛門管	実習	対面	1階 実習室
102		4						
103	11月11日 (火)	3	解剖実習34	倉岡・菊池・ 川久保	肛門三角, 下肢の表在静脈と皮 神経	実習	対面	1階 実習室
104		4						
105	11月13日 (木)	2	肉眼解剖学講義25	倉岡	下肢②	講義	対面	第2講義室
106	〃	3	解剖実習35	倉岡・菊池・ 川久保	大腿の前方区画, 大腿の内側区 画	実習	対面	1階 実習室
107		4						
108	11月14日 (金)	3	解剖実習36	倉岡・菊池・ 川久保	殿部, 大腿の後方区画	実習	対面	1階 実習室
109		4						
110	11月17日 (月)	2	肉眼解剖学講義26	倉岡	骨盤部④, 下肢③	講義	対面	第2講義室
111	〃	3	解剖実習37	倉岡・菊池・ 川久保	内腸骨動脈と仙骨神経叢, 骨盤 隔膜	実習	対面	1階 実習室
112		4						
113	11月18日 (火)	3	解剖実習38	倉岡・菊池・ 川久保	下腿の後方区画, 下腿の外側区 画	実習	対面	1階 実習室
114		4						
115	11月20日 (木)	2	肉眼解剖学講義27	倉岡	下肢④, 関節靱帯学	講義	対面	第2講義室
116	〃	3	解剖実習39	倉岡・菊池・ 川久保	下腿の前方区画と足背	実習	対面	1階 実習室
117		4						
118	11月21日 (金)	3	解剖実習40	倉岡・菊池・ 川久保	上肢・下肢の関節	実習	対面	1階 実習室
119		4						
120	12月5日 (金)	1	脳神経試験, その 他試験	倉岡・菊池・ 川久保	—	試験	対面	試験室 看護学科 6階
121		2						
	1月19日 (月)	3	再試験	〃	—	〃	〃	試験室 看護学科 6階
		4						

※上記の実習内容は変更される場合がある。実習ガイダンス (9/4) にて配布する予定表で確認すること。

7. リソースパーソン/担当者一覧

生体構造機能学講座 解剖学・人類学分野 倉岡 晃夫, 菊池 泰弘, 川久保 善智
福岡赤十字病院・移植外科 本山 健太郎

生 化 学

学士力番号 1-(3)

教科主任 布 村 聡

1. 科目の概要

人間の正常な機能として、生体における外界からのエネルギーの獲得と生体における高分子構成材料の合成が、重要な項目としてあげられる。「生化学」では、これに関する知識を得るとともに、その機序について理解を深めることを、まず第一の目的とする。また、次に、疾患とは人間の正常な機能が十分に働いていない状況により引き起こされるが、人間に本来備わっている正常な生化学的機能が異常状態となることで、さまざまな疾患が引き起こされることを理解する。さらに、治療に用いられる薬剤の多くは生体内に持っている酵素を標的としているが、そのような薬剤の作用機序を理解することで、治療の原理と適応について学ぶ。このように、「生化学」を介した医学的知識を身につけることにより、卒業時における問題解決への応用能力を高めるとともに、医学的研究の方法論と倫理の理解、未解決の医療・医学的問題の解決に取り組む姿勢、問題解決のための論理的・批判的思考などの科学的探究心を卒業時につけられることを目指す。

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
1 2 3 4 5 6 7 8	酵素の構造と機能 代謝総論 生体酸化 糖質の代謝 脂質の代謝 糖尿病の病態 アミノ酸の代謝 ヌクレオチドの代謝	分子生命科学	出原 賢治 出原 賢治 布村 聡 出原 賢治 布村 聡 出原 賢治 出原 賢治 南里 康弘 出原 賢治	・酵素の一般的な性質を理解し、作用の仕組みについて説明できる。 ・代謝の様式を理解するとともに、エネルギー変化と結びつけて説明できる。 ・薬物が酵素の活性を阻害することにより、作用できる仕組みを説明できる。 ・各代謝ならびに代謝異常について説明できる。	講義
9 10	発色法による酵活性測定 ELISA法による血中インスリン濃度測定	分子生命科学	出原 賢治 布村 聡 南里 康弘	・生化学実習を通して、酵素の働きやタンパク質相互の作用を分子レベルで理解する。	実習

3. 評価の方法と基準

1) 評価の方法

以下の全ての要件を満たすものを合格とする

- ・講義の3分の2以上に基本的には出席するとともに実習の全てに出席すること
- ・リモート授業の場合には、全ての授業を視聴すること
- ・筆記試験と実習の両方に合格となること
- ・筆記試験は60%以上の得点を得ることを必須とする。実習についてはレポートにおいて充分とする評価が得られることを必須とする。

No.1～10の学修目標については、以下により評価する。

2) 評価基準

- ・筆記試験の総得点で6割以上を得る。

- ・実習レポートに対して満足な評価を得る。

3) 試験結果の開示

- ・学生からの申請があれば、筆記試験の採点結果、実習レポートの評価について開示する。

4. 履修上の注意

- ・筆記試験は記述形式であり、単なる知識の記憶ではなく、内容を論理的に理解することが求められる。
- ・授業内容に関連する図表は配布プリントに載せるが、その内容を理解するために何らかの教科書を購読することが望ましい。
- ・日程表に挙げた項目、キーワードについてテキスト等を用いて予習・復習することが望ましい。

5. テキスト等

1) テキスト

配布プリントを中心に授業を行う予定である。しかし、下記のいずれかを教科書として購入することが望ましい。

- (1) ハーパー・生化学 第30版 清水孝雄訳 丸善 2016 ￥7,900
- (2) ストライヤー生化学 第8版 ストライヤー著 入村達郎他訳 東京化学同人 2018 ￥13,000
- (3) レーニンジャーの新生化学 第7版 2019 デービッドネルソン 著 広川書店 ￥17,600

6. 日 程 表

講義の場所は全て講義棟 1 F 第二講義室で行う。実習は実習棟 3 F 第三実習室で行う。

No.	月 日 (曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業形態	方法等	講義室
1	4月7日(月)	3, 4	酵素の構造と機能(I)	出原	酵素, 補酵素, 活性中心, アイソザイム, 触媒, 基質, 酵素反応, 非競合阻害, 競合阻害	講義	対面	第2講義室
2								
3	4月14日(月)	3, 4	酵素の構造と機能(II)	〃	ミカエリス・メンテンの式, エフェクター, アロステリック制御代謝, 同化反応, 異化反応, 自由エネルギー	講義	対面	第2講義室
4								
5	4月21日(月)	3, 4	生体酸化	布村	TCAサイクル, アセチルCoA, 酸化還元電位, 電子伝達系と酸化的リン酸化	講義	対面	第2講義室
6								
7	4月28日(月)	3, 4	糖質の代謝(I)	出原	解糖経路, 糖新生	講義	対面	第2講義室
8								
9	5月12日(月)	3, 4	糖質の代謝(II)	〃	ペントースリン酸回路, グリコーゲンの構造と代謝	講義	対面	第2講義室
10								
11	5月19日(月)	3, 4	脂質の代謝(I)	布村	脂肪酸, エイコサノイド, リポタンパク質, β -酸化, ケトン体	講義	対面	第2講義室
12								
13	5月23日(金)	1, 2	脂質の代謝(II)	〃	脂肪酸合成, コレステロール	講義	対面	第2講義室
14								
15	6月2日(月)	3, 4	糖尿病の病態 アミノ酸の代謝(I)	出原	糖尿病, インスリン, グルカゴン, アミノ酸, 尿素回路	講義	対面	第2講義室
16								
17	6月9日(月)	3, 4	ヌクレオチドの代謝	〃	プリン, ピリミジン, denovo合成回路, サルベージ反応, 尿酸, 痛風, レッシュ・ナイハン症候群	講義	対面	第2講義室
18								

No.	月 日 (曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー	授業 形態	方法等	講義室
19 20	6月16日(月)	3, 4	アミノ酸の代謝 (Ⅱ)	南里	必須アミノ酸, 非必須アミノ酸, アミノ酸合成, アミノ酸異化, アミノ酸代謝異常	講義	対面	第2講義室
29 30	7月8日(火)	3, 4	試験	布村他	試験	試験	対面	試験室 看護学科6階
	9月2日(火)	1, 2	再試験	〃		試験	対面	試験室 看護学科6階

No.	月 日 (曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー	授業 形態	方法等	講義室
21 28	6月23日(月) 6月24日(火)	全日	実 習	布村他	実習書を参照	実習	対面	3階 実習室

7. リソースパーソン/担当者一覧

分子生命科学	特任教授	出原 賢治
分子生命科学	准教授	布村 聡
分子生命科学	助教	南里 康弘

オフィスアワー一覧

巻末参照

動物性機能生理学

学士力番号 1-(3)

教科主任 安田 浩 樹

1. 科目の概要

高齢化社会における痴呆の問題や神経機能低下に伴う運動および感覚の機能不全によるQOL低下が大きな社会的懸案事項になっている。これらの問題の原因，発生機序の解明およびその予防と治療を適切に行うための基礎となる神経系および感覚系の働きについて系統的かつ総合的に学習する。本科履修を通じて、医学科習得過程表（ロードマップ）の1 プロフェッショナリズム1.5（自己主導型学修習慣の取得）、2 医学的知識 2.3（人間の正常な構造と機能）、6 科学的な探究心 6.2（問題解決に取り組む姿勢の習得）、6.3（論理的・批判的な思考が出来る）を達成する必要がある。

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
1	神経系・感覚系の生理機能	生体構造機能学	安田 浩樹 惣谷 和広 栗原 大河	1) 神経系の基本単位であるニューロンの生理機能，シナプス伝達機序および興奮伝達の統合について説明できる。 2) 末梢神経の種類，機能および活動電位の伝導機構について述べることができる。 3) 神経・筋シナプスにおける興奮伝達と筋の収縮機序について述べることができる。 4) 感覚情報の種類とその受容機構および中枢神経内の感覚上行経路を説明できる。 5) 脊髄および脳幹の反射の機構について説明できる。 6) 錐体路，錐体外路およびその制御回路など運動のコントロールに関与している神経回路について述べることができる。 7) 運動野の働きについて述べることができる。 8) 運動機能において大脳基底核と小脳が果たす役割について述べることができる。 9) 内的環境調節系としての終脳，間脳，脳幹および脊髄の役割を説明できる。 10) 内的環境調節の出力経路である交感神経および副交感神経の働きを述べることができる。 11) 脊髄・脳幹における感覚機能と運動機能，上位中枢や下位中枢への投射およびその生理的役割について理解できる。 12) 脳神経の働きについて述べることができる。 13) 間脳（視床と視床下部と視床上部）および大脳辺縁系の生理的役割について述べることができる。 14) 大脳感覚野の機能およびその情報処理機構について説明できる。 15) 脳波の種類およびその発生機構について述べることができる。 16) 睡眠の種類およびその中枢機序について説明できる。 17) 記憶の種類およびその中枢機序について説明できる。 18) 学習の種類について述べることができる。	講義

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
2	興奮性膜のシミュレーション実習	生体構造機能学	安田 浩樹 惣谷 和広 栗原 大河	神経細胞膜の膜電位制御メカニズムを、コンピューターシミュレーションによって学習する。	実習

3. 評価の方法と基準

1) 評価の方法

- ・筆記試験，実習出席状況，実習レポートによる総合評価を行う。

2) 評価基準

以下の要件をすべて満たすものを合格とする。

- ・筆記試験の評価は，正答率60%以上を合格とする。
- ・講義の評価は，2/3以上の出席と適切な態度の履修を合格基準とする。
- ・実習の評価は，全出席を合格基準とする。
- ・実習レポートの評価は，実習書の指針に沿って書かれていることを合格基準とする。

3) 評価結果の開示

- ・試験答案の採点結果，配点，成績等の解説と個別指導を行う。希望者は，試験結果発表から1ヶ月程度の期間内に，担当教員を訪ねること。

4. 履修上の注意

講義内容を記したシラバスを配布するので，シラバスを持参して講義に出席すること。また，このシラバスをもとに，日程表で挙げた項目，キーワードについて，講義の予習や復習を必ずすること。

5. テキスト等

1) テキスト

なし

2) 指定図書

- ① 標準生理学 第9版 本間研一監修 医学書院 2019 ￥13,200
- ② 生理学テキスト 第8版 大地陸男 著 文光堂 2017 ￥5,400

6. 日 程 表

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業形態	方法等	講義室
1	4月4日(金)	1	細胞膜の構造と機能	安田	細胞膜，脂質二重層，リン脂質，膜タンパク，輸送体，受容体，連結体，酵素	講義	対面	第2講義室
2		2	膜を通した輸送		イオン濃度分布，輸送体タンパク，チャネルタンパク，受動輸送，能動輸送，濃度勾配，電位勾配，共役輸送系，膜動輸送，Na ⁺ -K ⁺ ポンプ，Ca ²⁺ 輸送，光駆動ポンプ，イオンチャネル，電位依存性チャネル，リガンド依存性チャネル			
3	4月11日(金)	1	細胞内区画とタンパク質の輸送	惣谷	細胞内小器官，タンパク質の選別と小胞輸送，分泌経路，エンドサイトーシスなど	〃	対面	第2講義室

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
4	4月11日(金)	2	神経細胞とシナ プス伝達		ニューロン, 軸索, 樹状突起, 活動電 位, 神経伝達物質, シナプス, 興奮伝 導, Ca ²⁺ チャネル, グルタミン酸, GABA, グリシン, セロトニン, アセ チルコリン, 神経伝達物質受容体, 興 奮性シナプス伝達, 抑制性シナプス 伝達, 神経-骨格筋伝達, シナプス伝 達の特徴	講義	対面	第2 講義室
5	4月18日(金)	3	神経生理総論・ 末梢神経	安田	Nernstの式, Goldmanの式, シナプス伝 達, 電気シナプス, 化学シナプス, E P S Pの発生機序, I P S Pの発生機序, シナプス前抑制, 興奮伝達の統合, シ ナプス可塑性, 長期増強, 長期抑圧, 末 梢神経の種類, 活動電位の伝導	〃	遠隔	
6		4						
7	4月25日(金)	1	感覚系Ⅰ	安田	感覚総論, 体性感覚	〃	対面	第2 講義室
8		2						
9	5月9日(金)	1	感覚系Ⅱ	安田	視覚	〃	対面	第2 講義室
10		2						
11	5月16日(金)	1	内的環境の調節 系	安田	視床下部, 脳下垂体, 前葉, 後葉, 内分 泌系の統合, 脳脊髄液, 血液脳関門, 内臓知覚神経, 交感神経, 副交感神経, 内臓-内臓反射, コリン作動性, アド レナリン作動性	〃	遠隔	
12		2						
13	5月27日(火)	1	運動系Ⅰ	安田	神経・筋接合部, 筋原線維, カルシウ ム, 筋小胞体, 筋収縮筋と運動ニュー ロン, 筋紡錘, 腱器官, 脊髄反射, 脳幹 反射	〃	遠隔	
14		2						
15	5月30日(金)	1	運動系Ⅱ	安田	運動野, 錐体路, 錐体外路, 大脳基底 核, 小脳	〃	遠隔	
16		2						
17	6月3日(火)	1	感覚系Ⅲ	惣谷	聴覚, 平衡感覚,	〃	対面	第2 講義室
18		2						
19	6月6日(金)	1	感覚系Ⅳ	惣谷	味覚, 嗅覚	〃	対面	第2 講義室
20		2						
21	6月10日(火)	1	脊髄の機能	惣谷	脊髄内ニューロン, Brown-Séquard症 候群	〃	対面	第2 講義室
22		2	間脳と大脳辺縁 系の機能		視床の機能, 大脳辺縁系の機能, Klüv er-Bucy症候群			
23	6月13日(金)	1	脳幹の機能	惣谷	脳神経の働き, 延髄・橋・中脳に存 在する神経核の機能, 脳幹網様体	〃	対面	第2 講義室
24		2						
25	6月17日(火)	1	終脳の機能Ⅰ	安田	連合野, 言語野, 円柱構造, 脳波	〃	遠隔	
26		2						
27	6月20日(金)	1	終脳の機能Ⅱ	安田	睡眠, 覚醒, 記憶, 記憶障害, 学習	〃	対面	第2 講義室
28		2						
29	7月29日(火)	1	試験	安田 惣谷 栗原		試験	対面	試験室 看護学科6階
30		2						
	9月17日(水)	1	再試験	安田 惣谷 栗原		〃	〃	試験室 看護学科6階

●実習（「植物性機能生理学」との合同実習）

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
1 ～ 8	8月27日(水) 8月28日(木)	全日	実習	安田 惣谷 栗原	実習1 <u>膜生理実習</u> (別に配布する「生理学実習書」を 参照)	実習	対面	C P 室

7. リソースパーソン／担当者一覧

巻末参照

植物性機能生理学

学士力番号 1-(3)

教科主任 安田 浩 樹

1. 科目の概要

植物性機能生理学では、人体の生命維持のメカニズムについて、系統的に学習する。人体を構成するさまざまな器官の生理機能について学び、各器官の統御された働きが、体内環境の恒常性を維持するしくみを理解する。本科目履修を通じて、医学科習得過程表（ロードマップ）の「1プロフェッショナリズム」の1.5（自己主導型学習習慣の取得）、「2 医学的知識」の2.3（人間の正常な構造と機能）、「6 科学的な探究心」の6.2（問題解決に取り組む姿勢の習得）および6.3（論理的・批判的な思考が出来る）。

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
1	人体の生理機能とその統御	生体構造機能学	安田 浩樹 塩谷 孝夫 栗原 大河	以下の項目について説明できる。 1) 内部環境の恒常性維持のしくみと重要性。 2) 体温調節のしくみ、体温の変動、体温の異常。 3) 体液の区分と組成、酸塩基平衡のしくみ、血液の組成。 4) 血球と血漿の機能。 5) 心筋細胞の興奮と収縮のしくみ。 6) 心臓内興奮伝導と、心電図の原理。 7) 心周期と、心臓のポンプ機能。 8) 心拍出量の調節機構と、心臓のおもな機能不全。 9) 動脈循環のしくみと、肺循環、冠循環。 10) 微小循環、静脈循環、リンパ循環のしくみ。 11) 血管平滑筋の収縮弛緩と、その調節のしくみ。 12) 血圧と血流量の調節のしくみ。 13) 吸息と呼息のしくみと、換気力学。 14) 肺胞でのガス交換と、血液による血液ガスの運搬。 15) 呼吸の調節機構と、酸塩基平衡の肺性調節。 16) ネフロン働きと、尿生成のしくみ。 17) 尿生成による体液の恒常性維持と、酸塩基平衡の腎性調節。 18) 腎機能の調節機構と、排尿のしくみ。 19) ホルモンによる、細胞機能の調節のしくみ。 20) 視床下部一下垂体系による内分泌系の制御と、神経内分泌。 21) 各ホルモンの産生と生理作用、内分泌腺の分泌調節のしくみ。 22) 性ホルモンの産生と生理作用、性周期と排卵のしくみ。 23) 消化管の構造、消化管平滑筋と消化管神経叢の働き。 24) 消化管の運動とその調節機構、排便のしくみを説明できる。 25) 消化液の種類と働き、分泌機構とその調節について。 26) 栄養素それぞれの、消化と吸収のしくみ。	講義

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
2	実習2 心臓の収縮とポンプ機能の実験	生体構造機能学	塩谷 孝夫	心臓拍動の実験と、討論による考察を通じて、心臓の収縮のしくみを理解することを目標とする。	実習
3	実習3 心臓の興奮と心電図の実験	生体構造機能学	塩谷 孝夫	活動電位や心電図の実験と、討論による考察を通じて、心臓の興奮のしくみを理解することを目標とする。	実習

3. 評価の方法と基準

1) 評価方法

- ・筆記試験、実習出席状況、実習レポートによる総合評価を行う。

2) 評価基準

- ・筆記試験の評価は、佐賀大学成績判定などに関する規定第2条に準ずる。
- ・講義の評価は、3分の2以上の出席と適切な態度の履修を合格基準とする。
- ・実習の評価は、全出席を合格基準とする。
- ・実習レポートの評価は、実習書の指針に沿って書かれていることを合格基準とする。

3) 評価結果の開示

- ・必要時は試験答案の採点結果、配点、成績等の解説と個別指導を行う。希望者は、試験結果発表から1ヶ月程度の期間内に、担当教員を訪ねること。

4. 履修上の注意

広範にわたる内容の講義が、短期間のうちに行われる。十分な理解と能率的な学習のために、日程表に挙げた項目、キーワードを予習したうえで毎回の講義に臨み、疑問点は積極的に質問すること。

5. テキスト等

1) テキスト

なし

2) 指定図書

- ① 生理学テキスト 第8版 大地陸男著 文光堂 2017 ￥5,500
- ② 標準生理学 第9版 本間研一監修 医学書院 2019 ￥13,200

3) 参考書

- ① Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology / J.E. Hall 14th ed. Elsevier 2020 ￥15,552
- ② ガイトン生理学 原著第13版 J. E. Hall著 石川義弘他総監訳 エルゼビアジャパン 2018 ￥16,500
- ③ 生理学 改訂第18版 新装版 真島英信著 文光堂 2018 ￥5,500
- ④ Ganong's Review of Medical Physiology / K.E. Barrett 26th ed. McGraw Hill 2019 ￥9,456
- ⑤ ギャノン生理学 原書25版 K.E. Barrett他著 岡田泰伸監訳 丸善 2017 ￥11,000
- ⑥ Physiology of the Heart / A.M. Katz 5th ed. Lippincott Williams & Wilkins 2010 ￥12,160
- ⑦ コスタンゾ明解生理学 原書第6版 L.S. Costanzo 著 林 俊宏監訳 エルゼビアジャパン2019 ￥6,930

6. 日 程 表

No.	月 日 (曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
1	4月11日(金)	3	内部環境 1 内部環境の恒常性	塩谷	細胞と内部環境, ホメオスタシス, 負のフィードバックによる恒常性維持, 細胞の生理学	講義	対面	第2講義室
2		4	内部環境 2 体温		体熱の産生と放散, エネルギー代謝, 体温調節の機序, 体温の変動, 発熱, うつ熱			
3	4月15日(火)	3	体液 1 体液	塩谷	体液の量と分布, 体液の組成, 電解質と非電解質, 体液の酸塩基平衡, 血液の組成	〃	対面	第2講義室
4		4	体液 2 血液		赤血球, 白血球, 血小板, 血漿タンパク, 血液の凝固, 血液型			
5	4月22日(火)	1	心臓 1 心筋細胞の興奮と収縮	塩谷	心筋の活動電位, イオンチャネルと膜電流, 不応期, 興奮収縮連関, ペースメーカー	〃	対面	第2講義室
6		2	心臓 2 心臓の興奮伝導と心電図		自動能, 刺激伝導系, 心臓の興奮伝導, 心起電力ベクトル, 心電図			
7	4月28日(月)	1	心臓 3 心臓の拍動と心周期	塩谷	心周期, 心音, 圧容積関係, フランク・スターリングの法則, 心機能曲線, 心不全	〃	対面	第2講義室
8		2	心臓 4 心臓の調節と機能不全		心臓の調節機構, 変時作用・変力作用・変伝導作用, 不整脈, 伝導ブロック, リエントリー			
9	5月2日(金)	1	循環 1 動脈系の循環	塩谷	血圧の測定, ベルヌーイの法則, 圧脈波, 空気室効果, レイノルズ数, 肺循環, 冠循環	〃	対面	第2講義室
10		2	循環 2 微小循環と静脈系の循環		ファレウス・リンドクビスト効果, 膠質浸透圧, 筋ポンプ・呼吸ポンプ, 門脈, リンパ循環			
11	5月13日(火)	3	循環 3 血管平滑筋の機能	塩谷	血管平滑筋の機能, 血管内皮の機能, ポアズイユの法則, 血管の調節機構	〃	対面	第2講義室
12		4	循環 4 血圧の調節		血圧の調節機構, 血圧の受容器, 心臓血管中枢, 循環系の反射, 血流の局所調節			
13	5月19日(月)	1	呼吸 1 吸息と呼息のメカニズム	栗原	気道と肺, 呼吸運動, 胸腔内圧, サーファクタント, 肺気量分画, 死腔, 肺胞換気量	〃	対面	第2講義室
14		2	呼吸 2 ガス交換と血液ガスの運搬		肺胞でのガス交換, 拡散能, 換気血流比, O ₂ の運搬, ヘモグロビン, 酸素飽和度曲線, CO ₂ の運搬			
15	5月20日(火)	3	呼吸 3 呼吸調節と酸塩基平衡の維持	栗原	呼吸中枢, 呼吸の調節機構, 呼吸の化学性調節, ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式, ヘーリング・ブロイエル反射	〃	対面	第2講義室
16		4	腎臓 1 ネフロンによる尿の生成		糸球体, 濾過, 尿細管, 再吸収と分泌, 糸球体濾過量, 腎クリアランス, 傍糸球体装置			
17	5月26日(月)	1	腎臓 2 腎臓による体液の恒常性維持	栗原	尿の酸性化, 尿の濃縮と希釈, 対向流増幅系, 浸透圧利尿	〃	対面	第2講義室
18		2	腎臓 3 腎機能の調節と排尿		抗利尿ホルモン, レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系, 心房性ナトリウム利尿ペプチド, 尿管の機能, 蓄尿反射, 排尿反射			

No.	月 日 (曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
19	5月27日(火)	3	内分泌 1 ホルモン の分泌と作用機序	安田	内分泌の概念, 内分泌腺, ホルモンの 分類, 水溶性ホルモンの作用機序, 脂 溶性ホルモンの作用機序	講義	遠隔	
20		4	内分泌 2 視床下部 - 下垂体系		下垂体前葉ホルモン, 下垂体後葉ホ ルモン, 視床下部ホルモン, 神経内分 泌, 上位ホルモン			
21	6月2日(月)	1	内分泌 3 ホルモン による調節	安田	甲状腺ホルモン, 副腎皮質ホルモン, 副腎髄質とカテコラミン, 上皮小体 ホルモン, 膵島による血糖調節	〃	遠隔	
22		2	内分泌 4 性ホルモ ンと性周期		男性ホルモン, 女性ホルモン, 卵巣周 期, 月経周期, 正のフィードバック			
23	6月3日(火)	3	消化 1 消化管平滑 筋の機能	安田	消化管平滑筋, 消化管神経叢, 外来神 経, 腸内反射と腸外反射, 基礎電気リ ズムと活動電位, 蠕動運動と分節運 動	〃	遠隔	
24		4	消化 2 消化管の運 動		咀嚼と嚥下, 胃の運動, 消化管の反射, 排便反射			
25	6月10日(火)	3	消化 3 消化液の分 泌	安田	唾液, 胃液, 膵液, 胆汁, 腸液, 消化酵 素, 消化管ホルモン	〃	対面	第 2 講義室
26		4	消化 4 栄養素の吸 収		炭水化物の吸収, タンパク質の吸収, 脂肪の吸収, 膜消化, 輸送体, 水・電 解質の吸収, 肝臓の機能			
27	7月1日(火)	1, 2	試験	安田 惣谷 塩谷 栗原		試験	対面	試験室 看護学科 6 階
28								
	9月9日(火)	1, 2	再試験	〃		〃	〃	試験室 看護学科 6 階

●実習（「動物性機能生理学」との合同実習）

No.	月 日 (曜)	時限	項 目	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
1 ～ 20	7月14日(月) 7月15日(火) 7月17日(木) 7月18日(金) 7月22日(火)	全日	実習	塩谷	実習 2 心臓の収縮とポンプ機能の 実験 実習 3 心臓の興奮と心電図の実験 (別に配布する「生理学実習書」を 参照)	実習	対面	3 階 実習室

7. リソースパーソン／担当者一覧

巻末参照

薬 理 学

学士力番号 1-(3)

教科主任 寺 本 憲 功

1. 科目の概要

「薬理学」は生体と薬物との相互作用に関する基礎医学であり、将来、臨床医としての確かな薬物療法が行えるために必要な薬理学的知識について系統的に習得する『薬物治療学の基礎』を形成する。特に薬物の生体に対する主作用および副作用、薬物作用機序についての薬物-受容体相互連関、細胞内情報伝達について分子および細胞レベルで理解を深める（薬理学総論講義）。さらに各臨床医学領域における様々な病態と関連させながら、各疾患に対する薬物療法の本質およびその重要性について習得し、薬物作用機序について理解する（薬理学各論講義）。また基本的な実験手技を通して薬物投与前後でのin vivoおよびコンピュータ・シミュレーション上での変化を観察し、薬物作用機序について理解を深める（薬理学実習）。

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
1	薬理学総論	生体構造機能学	鬼頭 佳彦	1) 薬物の作用様式、薬物受容体を説明できる。 2) 薬物、化学物質の生体内代謝・排泄機序を説明できる。	講義
2	受容体、酵素および核酸に作用する薬物	生体構造機能学	鬼頭 佳彦	1) 細胞における情報の受容と応答を理解する。 2) 受容体、酵素および核酸に作用する自律神経作用薬、抗炎症薬、抗アレルギー薬、呼吸器作用薬、消化器作用薬、代謝性疾患治療薬および化学療法薬の作用機序を説明できる。	講義
3	イオンチャネルとトランスポーターに作用する薬物	生体構造機能学	鬼頭 佳彦	1) イオンチャネルおよびトランスポーターの分子レベルでの仕組みを理解する。 2) イオンチャネルおよびトランスポーターを標的とした自律神経作用薬、消化器作用薬および代謝性疾患治療薬の作用機序を説明できる。	講義
4	抗体医薬	生体構造機能学	鬼頭 佳彦	1) 免疫反応の基礎を理解し、膠原病治療薬、抗アレルギー薬、消化管作用薬、代謝性疾患治療薬および抗悪性腫瘍薬の作用機序を説明できる。	講義
5	薬物の副作用・有害事象	生体構造機能学	鬼頭 佳彦	1) 主な薬物の副作用・有害事象を説明できる。 2) 多剤併用、服薬アドヒアランスを説明できる。	講義
6	感染症治療薬	生体構造機能学	鬼頭 佳彦	1) 感染症の基礎を理解し、主な抗感染症薬の作用機序を説明できる。	講義
7	代謝性疾患治療薬	生体構造機能学	窪田 寿彦	1) 代謝性疾患の病因・病態を理解し、その治療薬の作用機序を説明できる。	講義
8	中枢神経薬理	生体構造機能学	窪田 寿彦	1) 中枢神経系で作用する薬物について、その作用、作用機序、副反応を説明できる。 2) 麻酔薬および鎮痛薬について、作用機序、中毒性および耐性を説明できる。	講義
9	循環器薬理	生体構造機能学	窪田 寿彦	1) 心不全、虚血性心疾患、不整脈および高血圧症の治療薬物の作用機序を説明できる。 2) 血液凝固機序を基に抗血栓薬の作用機序を説明できる。	講義

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
10	薬物動態学	生体構造機能学	鬼頭 佳彦	1) 薬物の吸収, 分布の機構および薬物の物性との関係を説明できる。 2) 臨床薬物動態論における考え方および薬物投与設計の基本を理解する。 3) 薬の血中動態の数学的取り扱いができる。 4) 薬物の体内動態への影響因子, 相互作用を説明できる。 5) 薬の適正な用法, 特に反復投与および持続点滴投与時の用法が算出できる。	講義
11	薬理学実習	生体構造機能学	鬼頭 佳彦 窪田 寿彦	1) 講義で修得した知識を実際に動物個体やコンピュータ・シミュレーションを用いて薬物の効果を確認し, 薬物治療学の基礎を理解する。 2) 中枢神経系に作用する薬物を投与し、生体で起こる現象を観察し、薬物の効果を理解する。	実習

3. 評価の方法と基準

1) 評価の方法

- ・学修目標 1～10については, 筆記試験を用いて評価を行う。
- ・実習は実習レポートおよび実習出席により評価を行う。

2) 評価基準

- ・成績の評価等は全て佐賀大学規程集佐賀大学医学部試験の実施等に関する取扱事項に準ずる (<https://kiteikanri2011.admin.saga-u.ac.jp/doc/rule/54.html>)。
- ・筆記試験の評価は佐賀大学成績判定等に関する規程第2条の2に準ずる。
- ・講義の出席状況は2／3以上の出席を最低基準とし, 出席状況が2／3に満たない場合は筆記試験の受験を認めない(万一, 受験しても採点・評価は行わない)。
- ・筆記試験は薬理学総論(100点満点)と薬理学各論(100点満点)で実施する。各筆記試験の全てで60%以上の正答率を合格とする。上記の試験結果が1つでも60%に満たない場合, 科目(薬理学)として不合格とする。
- ・単位最終認定は, 実習評価を含めた総合評価で行う。
- ・各実習テーマは年度内に1度しか実施しない。そのため実習に10分以上遅刻した場合, 原則として欠席扱いとする。
- ・実習を1回でも欠席した場合は単位認定を行わない。

3) 試験結果の開示

- ・試験答案の採点結果および成績等の解説については個別指導にて行う。希望者は試験結果発表後, 担当教員のオフィスアワー等の時間帯を事前に確認し, 直接問い合わせること。

4. 履修上の注意

- ・講義中および実習時間中は一切の飲食を厳禁とするが, 水分補給は認める。
- ・学生諸君らには学修項目に挙げた内容についてテキスト等を用いて予習・復習することを強く勧める。
- ・講義用のテキストは特に指定しないが, 発行年が新しいものが望ましい。

5. テキスト等

参考書

- ① NEW薬理学 田中 千賀子／加藤 隆一／成宮 周 著 改訂第7版 南江堂 2017 (本体 8,800円＋税)
- ② 標準薬理学 宮本 英七／今井 正 監修 飯野 正光／鈴木 秀典 編集 第8版 医学書院 2021
(本体 7,480円＋税)
- ③ Goodman and Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics 13th Edition
＜グッドマン&ギルマン薬物治療の基礎 第14版＞
Brunton LL／Hilal-Dandan R／Knollmann BC 著
McGraw-Hill Education 2023 (本体 32,901円＋税)

6. 日 程 表

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当	キーワード	授業形態	方法等	講義室
1	9月24日 (水)	1	薬理学とは	寺本	薬理学とは？, 薬力学, 薬物動態学, 薬物療法のPrincipleとしての薬理学, 次世代創薬, ゲノム創薬	講義	対面	第2講義室
2		2	薬の作用様式と作用機序	鬼頭	薬物受容体の概念, 薬物濃度と薬理反応, アゴニストとアンタゴニスト	講義	対面	第2講義室
3	9月26日 (金)	1	薬の生体内動態	鬼頭	薬の吸収, 薬の生体内分布, 薬の代謝, 薬の排泄, 薬物動態学	講義	対面	第2講義室
4		2	受容体・酵素・核酸に作用する薬物(1)	鬼頭	自律神経作用薬	講義	対面	第2講義室
5～6	9月30日 (火)	1,2	受容体・酵素・核酸に作用する薬物(2)(3)	鬼頭	抗炎症薬, 抗アレルギー薬, 呼吸器作用薬, 消化器作用薬, 抗悪性腫瘍薬	講義	対面	第2講義室
7	10月3日 (金)	1	イオンチャネル・トランスポーターに作用する薬物	鬼頭	自律神経作用薬, 消化器作用薬, 代謝性疾患治療薬	講義	対面	第2講義室
8		2	抗体医薬(1)	鬼頭	膠原病治療薬, 抗アレルギー薬	講義	対面	第2講義室
9	10月7日 (火)	1	抗体医薬(2)	鬼頭	炎症性腸疾患治療薬, 抗悪性腫瘍薬, 代謝性疾患治療薬	講義	対面	第2講義室
10		2	感染症治療薬(1)	鬼頭	抗感染症薬概説	講義	対面	第2講義室
11～12	10月10日 (金)	1,2	感染症治療薬(2)(3)	鬼頭	抗菌薬, 抗真菌薬, 抗ウイルス薬	講義	対面	第2講義室
13～14	10月21日 (火)	1,2	薬理学総論試験	鬼頭	薬理学総論試験	試験	対面	試験室 看護学科6階
15～16	11月19日 (水)	1,2	中枢神経(1)(2)	窪田	パーキンソン病治療薬, 認知症治療薬, 抗てんかん薬	講義	対面	第2講義室
17～18	11月25日 (火)	3,4	中枢神経(3)(4)	窪田	抗精神病薬, 抗うつ薬と気分安定化薬, 抗不安薬・催眠薬	講義	対面	第2講義室
19	11月28日 (金)	1	中枢神経(5)	窪田	麻薬性鎮痛薬, 全身麻酔薬	講義	対面	第2講義室
20		2	代謝性疾患	窪田	糖尿病治療薬, 脂質異常症治療薬	講義	対面	第2講義室
21～22	12月1日 (月)	3,4	循環器(1)(2)	窪田	利尿薬, 高血圧治療薬	講義	対面	第2講義室
23～24	12月2日 (火)	3,4	循環器(3)(4)	窪田	心不全治療薬, 抗不整脈薬, 血栓症治療薬,	講義	対面	第2講義室

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当	キーワード	授業 形態	方法等	講義室
実習 25～26	12月3日 (火)	3,4	薬理学実習(1)	鬼頭 窪田	後日,別途配布する「薬理学実習書」 を参照すること	実習	対面	3階実習室 CP室
実習 27～28	12月4日 (水)	3,4	薬理学実習(2)	鬼頭 窪田	後日,別途配布する「薬理学実習書」 を参照すること	実習	対面	3階実習室 CP室
実習 29～30	12月5日 (木)	3,4	薬理学実習(3)	鬼頭 窪田	後日,別途配布する「薬理学実習書」 を参照すること	実習	対面	3階実習室 CP室
31～32	1月8日 (木)	3,4	薬理学各論試験	窪田	薬理学各論試験	試験	対面	試験室 看護学科6階
	1月30日 (金)	3,4	薬理学再試験	鬼頭 窪田		試験	対面	試験室 看護学科6階

7. リソースパーソン／担当者一覧

講 座	職 名	氏 名	連 絡 先
生体構造機能学	教 授	寺本 憲功	E-mail : 内線 :
生体構造機能学	准教授	鬼頭 佳彦	E-mail : 内線 :
生体構造機能学	助 教	窪田 寿彦	E-mail : 内線 :

薬理学実習について

教科主任 寺 本 憲 功

薬理学の講義内容を踏まえ、中枢神経系に対する薬物作用機序についてin vivoの観点から学習する。またPC上でシミュレーションソフトを用いて、循環器系に作用する薬物の効果を学習する。

薬理学の講義内容を踏まえ、循環器系および中枢神経系作用薬に関する自習を行い、治療薬の薬物動態や生体反応を学習する。

1. 実習テーマ

- I. コンピュータ・シミュレーションを用いた循環器薬理演習（鬼頭 担当）
- II. 中枢神経系に作用する薬物に関する実習（窪田 担当）

2. 実習の目的

前述「2. 講義・実習項目および学修目標」の該当項目を参照のこと。

3. オリエンテーション

各実習テーマにおいて個々に指示する。

4. 実習前の注意

- 1) 「実習書」は実習の約1週間前に配布する。
- 2) 実習前に必ず実習内容および注意事項を熟読し、授業内容を復習して十分な予備的知識を得ておくこと。

5. 実験の仕方

- 1) 各実習テーマの実習内容を把握する。
- 2) 実習は、自ら手を積極的に動かし参加する。
- 3) 実験中に感じる疑問は、適宜、意見討論を行う。

尚、実験動物に対し、不必要な苦痛を与えてはならない。生命への尊厳を十分理解し、実習に取り組むこと。

6. 実習に関する全体的な注意事項

- 1) 実習テーマIIのみ、白衣と名札を着用し、実習室内では一切の飲食を厳禁とする。
- 2) 実習班の組分け表に従い、各実習テーマ所定の集合場所へ12時55分までに集合すること（集合時間厳守）。
- 3) 実習レポート提出は担当教員が示した期限および提出場所を厳守すること。

7. 評価

- 1) 実習レポートおよび実習出席により総合的に評価する。
- 2) 薬理学の単位最終認定は、実習評価を含めた総合評価で行う。
- 3) 各実習テーマは年度内に1度しか実施しないため、実習を1回でも欠席した場合（10分以上の遅刻も含む）は単位認定を行わない。

微生物学

学士力番号 1-(3)

教科主任 宮本比呂志

1. 科目の概要

臨床医学・社会医学の学習に必要な主要な感染症の原因，発生機序，病的变化，その経過および転帰を理解する。即ち患者に接するに当たり，その原因微生物と発病機序を考察しつつ，患者が有する病態を正しく把握するのに必要な基本的能力と態度を養う。医師のプロフェッショナリズムを基盤として，医学的知識の問題への応用力，安全で最適な医療実践を行う基本の修得を行う。

- 1) 内因性および外因性病原体と宿主との相互反応・生体反応を理解する。
- 2) 外因性病原体としての微生物（細菌，スピロヘータ，リケッチア，ウイルス，真菌）および寄生虫などの個々の性質を把握する。
- 3) グラム陽性球菌，腸内細菌等を材料として，その一般的性状，同定方法を実習しながら併せて医学を志望する者として病原微生物を取扱う態度を身につける。（講義棟3F実習室）

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
1	イントロダクション・微生物学総論	微生物学分野	宮本比呂志	・細菌・真菌の基本性状と病原性について説明できる。 ・ウイルスの基本的性状と病原性について説明できる。 ・寄生虫の基本的性状と病原性について説明できる。 ・微生物検査の概要について説明できる。	講義
2	細菌学・真菌学各論	微生物学分野	菖蒲池健夫	・主なGram 陽性菌，Gram 陰性菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・主なスピリルム属菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・抗酸菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・主な真菌の微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・スピロヘータ，マイコプラズマ，リケッチア，クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。	講義
3	ウイルス学各論	微生物学分野	菖蒲池健夫	・主なDNAウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。 ・主なRNAウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。 ・レトロウイルス(ヒト免疫不全ウイルス)の特性と一般ゲノム構造を説明し，分類できる。	講義
4	寄生虫学各論	免疫学分野	見市文香	・原虫類・蠕虫類の分類及び形態学的特徴を説明できる。 ・寄生虫の生活史，感染経路と感染疫学的意義を説明できる。 ・寄生虫感染宿主の生体防御の特徴を説明できる。 ・各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。 ・寄生虫症の診断，治療と予防の概要を説明できる。	講義
5	微生物学実習	微生物学分野	宮本比呂志 菖蒲池健夫	・病原微生物を安全に取扱うことができる。 ・実験を協働して実施できる。 ・実験結果について科学的に発表・討論できる。	実習・発表・討論

3. 評価の方法と基準

1) 評価の方法

- ・筆記試験、実習技能と態度、実習レポートにより総合的に評価とする。筆記試験は2/3以上の出席を受験資格とする。実習は原則として欠席を認めない。実習中の不適切な態度はその場で注意するが、改善が認められない場合は出席を取り消す。
- ・No.1～5の学修目標については、上記により評価する。

2) 評価基準

- ・筆記試験の可否判定基準は、60%の正答率を基本として、試験の難易度によって調整する。

3) 試験結果の開示

- ・試験答案の採点結果、配点、成績等の解説と個別指導を行う。希望者は、試験結果発表後1月程度の期間内に、オフィスアワー等の時間帯を利用して担当教員を訪ねること（メール等で予約することが望ましい）。

4. 履修上の注意（授業外での学習を含む）

日程表にあげた項目、キーワードについてテキストを用いて予習・復習する（能動的学修）。

講義・実習中の飲食は禁止する。

（実習について）

病原微生物の培養と同定、観察などを通して講義で得た知識を実際に経験し、生きた知識として身につけるため、実習を行う。実習は講義棟3F実習室で行う。白衣・名札を必ず着用し、色鉛筆を持参のこと。白衣を着用しない学生の実習参加は認めない。実習書を配布するので、毎回持参し、実習終了後には毎回レポートを提出すること。

5. テキスト等

参 考 書

戸田新細菌学 吉田真一・柳雄介・吉開泰信共編 第34版 南山堂 2013 ￥16,000

標準微生物学 神谷茂 監修、第14版 医学書院、2021 ￥7,700

6. 日 程 表

No.	月日(曜)	時限	項 目	科	担当者	キ ー ワ ー ド	授業形態	方法等	講義室
1	10月24日 (金)	1	微生物学総論 1	微	宮本	原核生物, コッホの4原則, ウイルスの発見, グラム染色, 細胞壁, ペプチドグリカン, LPS, 莢膜, 鞭毛, 芽胞, 内毒素, 外毒素, 常在細菌, 菌交代現象, 日和見感染, 内因感染, ビルレンス,	講義	対面	第2講義室
2		2	微生物学総論2						
3	10月31日 (金)	1	微生物学総論3	微	宮本	バイオフィルム, クオラムセンシング, 感染型食中毒, 毒素型食中毒, 病院感染, 標準予防策, 抗菌化学療法, 薬剤耐性菌	講義	対面	第2講義室
4		2	微生物学総論4						
5	11月7日 (金)	1	微生物学総論5	微	宮本	カプシッド, エンベロープ, DNAウイルス, RNAウイルス, 偏性細胞内寄生インターフェロン, 遺伝的再集合, レセプター臓器親和性, 不顕性感染, 顕性感染, 回帰発症, 抗ウイルス薬	講義	対面	第2講義室
6		2	微生物学総論6						

No.	月日(曜)	時限	項 目	科	担当者	キ ー ワ ー ド	授業 形態	方法等	講義室
7	11月14日 (金)	1	細菌学各論 1	微	菖蒲池	グラム陽性球菌ブドウ球菌・連鎖球菌・肺炎連鎖球菌, グラム陰性球菌淋菌とナイセリア属、髄膜炎菌、細胞内寄生菌、レジオネラ、リステリアと豚丹毒菌	講義	対面	第2 講義室
8		2	細菌学各論 2						
9	11月21日 (金)	1	細菌学各論 3	微	菖蒲池	グラム陰性桿菌緑膿菌、インフルエンザ菌、ヘリコバクター、ジフテリア菌、結核菌と抗酸菌	講義	対面	第2 講義室
10		2	細菌学各論 4						
11	11月28日 (金)	3	細菌学各論 5	微	菖蒲池	腸内細菌、大腸菌、赤痢菌、サルモネラ、コレラ菌とビブリオ科、感染性胃腸炎(食中毒原因菌)、マイコプラズマ、クラミジアと呼吸器感染症、リケッチア、酵母と糸状菌、二形性、カンジダ、アスペルギルス、クリプトコッカス、ムコール	講義	対面	第2 講義室
12		4	真菌学総論・各論						
13	12月1日 (月)	1	ウイルス学各論 1	微	菖蒲池	ヘルペスウイルス、アデノウイルス、パピローマウイルス、インフルエンザウイルス	講義	対面	第2 講義室
14		2	ウイルス学各論 2	微	菖蒲池				
15	12月8日 (月)	1	ウイルス学各論 3	微	菖蒲池	レトロウイルス、肝炎ウイルス	講義	対面	第2 講義室
16		2	ウイルス学各論 4	微	菖蒲池		講義	対面	第2 講義室
17	12月9日 (火)	3	寄生虫学総論・各論 1	寄	見市*	原生動物、扁形動物、線形動物、蠕虫、衛生動物、固有宿主、終宿主、中間宿主、待機宿主、保虫宿主、人畜共通感染症、保虫者、媒介者、体内移行、幼虫移行症、異所寄生、迷入、転移、好酸球増多症、輸入寄生虫症、線虫	講義	対面	第2 講義室
18		4	寄生虫学各論 2	寄			講義	対面	第2 講義室
19	12月11日 (木)	3	微生物学総論 7	微	宮本	抗菌化学療法、薬剤耐性菌、感染論(まとめ)	講義	対面	第2 講義室
20		4	微生物学総論 8						
21	12月12日 (金)	1	ウイルス学各論 5	微	菖蒲池	トガウイルス、フラビウイルス、アルボウイルス、デングウイルス、日本脳炎ウイルス、コロナウイルス、プリオン	講義	対面	第2 講義室
22		2	ウイルス学各論 6						
23	12月12日 (金)	3	寄生虫学各論 3	微	見市	肺吸虫、肝吸虫、住血吸虫、条虫	講義	対面	第2 講義室
24		4	寄生虫学各論 4						
25	12月15日 (月)	3	寄生虫学各論 5	寄	見市	原虫、アメーバ、マラリア、トキソプラズマ、クリプトスポロジウム、トリパノソーマ、リーシュマニア、ランブル鞭毛虫、膾トリコモナス	講義	対面	第2 講義室
26		4	寄生虫学各論 6						
27,28,,29	12月16日 (火)	3,4,5	微生物学実習	微	宮本 菖蒲池	細菌の染色法、分離培養、鞭毛・芽胞染色、腸内細菌の同定法、MIC・MBCの測定、空中細菌、皮膚常在菌の分離培養	実習	対面	3階 実習室
30,31,32	12月17日 (水)	3,4,5							
33,34,35	12月18日 (木)	3,4,5							
36,37,38	12月19日 (金)	3,4,5							
39,40	1月14日 (火)	3,4	微生物学試験 (含む寄生虫学)	微・寄	宮本 菖蒲池	微生物学総論、細菌・真菌学各論、ウイルス学各論、寄生虫学総論・各論	試験	対面	試験室 看護学科6階
	2月12日 (木)	3,4	微生物学再試験 (含む寄生虫学)	微・寄	〃	〃	〃	〃	試験室 看護学科6階

* 学外非常勤講師

7. リソースパーソン/担当者一覧

病因病態科学講座 微生物学分野 宮本比呂志、菖蒲池健夫
長崎大学 熱帯医学研究所 共同利用施設 見市文香

病 理 学

学士力番号 1-(3)

教科主任 青 木 茂 久

1. 科目の概要

「病理学」は、分子細胞生物学、免疫学、組織学、解剖学、生化学、生理学、微生物学の学修を終えたのちの基礎医学科目（Phase II）のまとめとして位置づけられる重要な科目である。病理学総論の講義・実習を通して、人間の正常な構造と機能を復習しながら、臨床医学や社会医学の学習に必要な基本的な病変および主要な疾病の原因、発生機序、病的変化、その経過および転帰を理解する。患者に接するにあたり、疾病の原因と成り立ちを考察しつつ、病変の形態学的特徴を理解し、患者が有する病態を正しく把握するために必要な基本的能力と態度を養う。さらに、医療における病理学、チーム医療の一員としての病理医の役割も理解する。すなわち医師としてのプロフェッショナリズムを基盤として、医学的知識を身につけ、医療・医学に貢献できる科学的な探求心と方法論を修得する。当科目は3年次前期に講義および実習の形式で実施する。講義では、種々の病的変化が基本的には先天異常、変性ないし代謝障害性病変、進行性病変（修復、適応を含む）、循環障害、炎症および腫瘍に大別できることを理解する。実習では、基本的病変の生体臓器および組織における形態学的変化を光学顕微鏡ならびにバーチャルスライドを用いて観察し、患者個体像を組み立てて、臨床症状と関連付けながら把握する。

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
1	病理学概論	探索病理学	青木 茂久	・病理学の役割を理解する。 ・正常細胞、正常組織の構成要素を説明できる。 ・臨床病理学、実験病理学の概要を説明できる。	講義
2	先天異常	探索病理学	西山めぐみ	・先天異常の定義とその発生を理解する。 ・先天異常の要因と成立機転を述べることができる。 ・奇形を分類しそれぞれの違いを説明できる。	講義
3	変性・代謝障害	探索病理学 探索病理学	青木 茂久 西山めぐみ	・退行性病変の基礎となる細胞内小器官、細胞間物質、細胞外基質の構成を述べるができる。 ・変性および壊死の種類および原因を説明できる。 ・生体色素の性質、由来について説明できる。 ・退行変性病変とそれにより生じた病態を統合的に説明できる。	講義 実習
4	循環障害	診断病理学 診断病理学 診断病理学 病理部・病理診断科	加藤 省一 木戸 伸一 橋口真理子 井樋 有紗	・充血、うっ血、貧血、出血、浮腫の原因、病態を理解する。 ・側副循環の発生機序を説明できる。 ・血栓の種類とその形成機序、経過を説明できる。 ・播種性血管内凝固（DIC）の原因と病態を理解し、諸臓器に生じる変化を説明できる。 ・梗塞の原因、機序の概略を説明できる。 ・ショックの原因、機序の概略を説明できる。	講義 実習
5	炎症	診断病理学 診断病理学 診断病理学 病理部・病理診断科	加藤 省一 木戸 伸一 橋口真理子 井樋 有紗	・炎症の原因、成り立ち、種類、全身に及ぼす影響を説明できる。 ・炎症における血管反応について説明できる。 ・滲出、漏出、遊出を区別し、説明できる。 ・炎症細胞の種類を述べ、機能や役割を説明できる。炎症における化学伝達物質を挙げ、由来と作用について説明できる。	講義 実習

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
				・アレルギー、アネルギー、即時型および遅延型過敏症を区別し、その概略を説明できる。 ・急性炎症と慢性炎症を区別し、原因、変化、経過の違いを説明できる。 ・感染症の蔓延様式を理解し、敗血症の概念と諸臓器病変を説明できる。	
6	創傷と治癒外因による障害	診断病理学 病理部・病理診断科	橋口真理子 井樋 有紗	・創傷の種類とその特徴、治癒機転、経過を説明できる。 ・創傷治癒に及ぼす因子を挙げ、説明できる。 ・肉芽組織の特徴を述べることができる。 ・再生、肥大、過形成、化生、異物処理の機構を理解し説明できる。 ・物理的障害、化学的障害、栄養障害について原因と病態を関連付けて説明できる。	講義
7	腫瘍	探索病理学 探索病理学 国立佐賀病院	青木 茂久 西山めぐみ 内橋 和芳	・腫瘍の定義、性状、宿主に及ぼす影響を説明できる。 ・腫瘍細胞の細胞生物学的特徴を説明できる。 ・腫瘍の発生原因と発生機序、増殖と浸潤について説明できる。 ・腫瘍の組織学的分類を説明できる。 ・腫瘍の転移の機序、経路を説明できる。 ・腫瘍の良性、悪性を区別し説明できる。 ・腫瘍の悪性度と進展度を説明できる。 ・癌遺伝子、癌抑制遺伝子について説明できる。 ・腫瘍の疫学について述べることができる。	講義 実習
8	医療の現場における病理の役割	長崎労災病院 小池病院	力武美保子 小池 英介	・病理医の業務と医療における役割を説明できる。 ・病理診断のプロセスとその意義を説明できる。 ・病理医と臨床医の協力体制について説明できる。 ・病理解剖の役割とその意義を説明できる。	講義

3. 評価の方法と基準

1) 評価の方法

以下のすべての要件を満たすものを合格とする。

- ・受験資格は、原則として講義受講及び課題レポートの提出を必須条件とし、適切な態度で履修していること。
- ・受験資格を満たし筆記試験で合格判定基準に達した場合に合格とする。

2) 評価基準

- ・試験の配点は以下の通り。

筆記試験 100点

実習課題(提出済みの課題) 30点 (未提出は筆記試験の結果にかかわらず不合格)

- ・合格判定基準は、上記の合計91点 (70%) 以上を基本とし、試験の難易度によって調整する。
- ・本試験不合格者に対しては、再試験を1度のみ行う。

3) 試験結果の開示

- ・申請があれば、筆記試験の採点結果について開示し、解説と個別指導を行う。希望者は、試験結果発表後1月程度の期間内に、オフィスアワーの時間帯を利用して必ず事前にアポイントメントを取って担当教員を訪ねること。なお、新型コロナウイルスの感染状況により変更することがある。

4. 履修上の注意

- ・講義は対面および遠隔講義とする（場合によっては対面講義が遠隔講義になることあり）。実習には遅刻しないこと。正当な事由のない実習での欠席は認めない。不誠実な学習態度、学力や技能の向上を怠る姿勢に改善が見られない場合、他人や周囲への迷惑行為、不正行為を行った学生は不合格となる。
- ・学修目標に挙げた項目、キーワードについて、講義用シラバス、指定図書、参考書を活用して、予習および復習を行う。組織学、病理学に関連する学習書の持参が望ましい。
- ・病理学実習では貴重なプレパラート、高価な顕微鏡ならびにパソコンを使用するため、これらの取り扱いには十分注意し、破損がないようにすること。病理標本の観察・スケッチのため、色鉛筆・レポート用紙を持参すること。
- ・講義・実習中の携帯電話の使用、学習目的以外での電子機器の使用、飲食は禁止する。

5. 講義内容に関する質問について

1) 対面での質問

- ・講義内容に関して質問がある場合は、対面での質問を受け付けるが、以下の項目を遵守すること。
- ・担当教員に事前にメール連絡し、アポイントメントを取る。
- ・メール送信の際は、件名に「病理学質問、学籍番号、氏名」を記載すること。
- ・1回につき30分、3名までとする（質問事項を簡潔にまとめておくこと）。
- ・マスク着用のこと。
- ・訪問前に体温測定、体調の確認を行い、発熱や体調不良の場合は訪問を控えること。
- ・対面での質問は、緊急事態宣言発令中は行わない。

2) メールによる質問

- ・メール送信の際は、件名に「病理学質問、学籍番号、氏名」を記載すること。
- ・質問事項は2点まで。簡潔にすること。
- ・質問メールの件数が多数の場合、すべての質問に答えられないことがある。

6. テキスト等

1) テキストなし

2) 指定図書

- ① 標準病理学（第7版）北川 昌伸 医学書院 2023 ￥12,100
- ② ルービン病理学—臨床医学への基盤改訂版 鈴木利光他監訳 西村書店 2017 ￥12,500
- ③ ロビンス基礎病理学（日本語訳10版）豊國伸哉監訳 丸善 2018 ￥18,000
- ④ Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease/Vinay Kumar. 10th ed. Saunders 2021

3) 参考書

- ① 組織病理アトラス 深山正久他 第6版 文光堂 2015 ￥25,000
- ② カラーアトラス 病理組織の見方と鑑別診断（第7版）赤木忠厚他 医歯薬出版 2020 ￥15,000

7. 日 程 表

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キーワード	授業形態	方法等	講義室
1	10月15日 (水)	3	病理学序論・概要	青木	病理学とは,正常細胞と正常組織,細胞生物学,生化学,免疫学	講義	対面	第2講義室
2	10月15日 (水)	4	細胞・組織障害	青木	サイトカイン,プロテアーゼ,フリーラジカル,低酸素,細胞外基質,萎縮,過形成,壊死,アポトーシス	講義	対面	第2講義室
3	10月22日 (水)	3	変性・退行性変化	青木	蛋白変性,アミロイドーシス,硝子変性,粘液変性,脂肪変性,糖原変性,糖原病,糖尿病,石灰変性,異栄養性石灰化,転移性石灰化,尿酸	講義	対面	第2講義室
4	10月22日 (水)	4	先天異常	西山	単為生殖,染色体異常,単一遺伝子異常,環境要因,子宮内感染,母の疾病,多因子遺伝	講義	対面	第2講義室
5,6	10月28日 (火)	1,2	循環障害①	加藤	充血,うっ血,貧血,血流停止,側副循環,出血,浮腫,腔水症,凝固・線溶	講義	対面	第2講義室
7,8	10月29日 (水)	3,4	変性代謝障害実習	青木	結晶体変性,結石,色素変性,メラニン,リポフスチン,ヘモジデリン,ヘモクロマトーシス,壊死,アポトーシス,糖原変性,糖原病,脂肪肝,褐色萎縮,黄疸,胆汁うっ滞,アミロイドーシス,刺青,褐色色素	実習	対面	第2実習室
9,10	11月4日 (火)	1,2	循環障害実習①	加藤	梗塞,うっ血,水腫	実習	対面	第2実習室
11,12	11月5日 (水)	3,4	炎症/感染症と免疫	加藤	炎症の定義,滲出,ケミカルメディエータ,炎症細胞の種類と特徴,急性炎症,慢性炎症,肉芽腫性炎	講義	対面	第2講義室
13,14	11月11日 (火)	1,2	感染症と免疫	加藤	アレルギー,抗体,SIRS,敗血症,菌血症,DIC,免疫不全,日和見感染,細菌感染,真菌感染,ウイルス感染,菌交代現象,感染予防策	講義	対面	第2講義室
15,16	11月12日 (水)	3,4	炎症実習①	加藤	急性炎症,慢性炎症(増殖性炎症),異物反応,免疫複合体	実習	対面	第2実習室
17,18	11月18日 (火)	1,2	再生と修復/外因による傷害	井樋橋口	細胞増殖と再生過形成・肥大・化生肉芽組織異物処理	講義	対面	第2講義室
19,20	11月25日 (火)	1,2	炎症実習②	木戸	肉芽腫性炎症,日和見感染症,真菌感染症,ウイルス感染症	実習	対面	第2実習室
21,22	11月26日 (水)	3,4	腫瘍①腫瘍総論・発生	青木	腫瘍総論良性・悪性・上皮性・非上皮性異型分化度	講義	対面	第2講義室
23	11月27日 (木)	3	腫瘍②腫瘍増殖・悪液質	青木	腫瘍の発生・進展早期癌と進行癌	講義	講義	第2講義室
24	11月27日 (木)	4	臨床医と病理医	小池*	臨床医と病理医の連携	講義	対面	第2講義室
25,26	12月2日 (火)	1,2	腫瘍実習①	青木	腺腫,腺癌,低分化腺癌,高分化腺癌,上皮内癌,早期胃癌,進行大腸癌,扁平上皮癌,尿路上皮癌臨床医と病理医の連携	実習	対面	第2実習室
27	12月8日 (月)	3	病理医の役割	力武*	病理診断科生検・細胞診・迅速診断病理解剖CPC医療安全	講義	対面	第2講義室
28	12月8日 (月)	4	腫瘍③希少がん	内橋*	希少がん,小児腫瘍,骨軟部腫瘍,白血病,リンパ腫,脳腫瘍	講義	対面	第2講義室
29,30	12月9日 (火)	1,2	腫瘍実習②	青木	線維腫,骨肉腫,奇形腫,転移性癌,胚細胞腫瘍,悪性線維性組織球腫,骨肉腫	実習	対面	第2実習室
31	12月10日 (水)	3	マクロ病理学	青木	割面,硬度,色,腫瘍,結節,腫瘍,嚢胞,肥大,萎縮,軟化,出血,線維化,潰瘍,梗塞,壊死	講義	遠隔	第2講義室

No.	月日(曜)	時限	項 目	担当者	キーワード	授業 形態	方法等	講義室
32,33	12月22日 (月)	1,2	筆記試験	青木		試験	対面	試験室 看護学科6階
	1月27日 (火)	3,4	再試験	青木		試験	対面	試験室 看護学科6階

* 学外非常勤講師

8. リソースパーソン/担当者一覧

講 座	氏 名	内線番号	連 絡 先
探索病理学	青木 茂久		
診断病理学	加藤 省一		
診断病理学	木戸 伸一		
診断病理学	橋口真理子		
探索病理学	西山めぐみ		
病理部・病理診断科	井樋 有紗		

Phase I のうち， 2 年次に履修する授業科目の学習指針等

医療入門Ⅱ

医 療 入 門 Ⅱ

学士力番号 1-(2)

教科主任 小 田 康 友

1. 科目の概要

「医療入門Ⅰ」及び「医療入門Ⅱ」は、佐賀大学医学部医学科の6年間の学びを、医師としての実力に収斂させるために、ゴールとなる医師像、医療像、そして人間（社会）像を描き、そこへ至る学び方（プロセス）を理解することを目的として設定されている。「医療入門Ⅱ」では、1年次よりも医師の専門的視点（プロフェッショナルリズムや臨床倫理）と技（臨床技能）をもって学修・実習にあたり、ゴール・プロセスの理解を深めてもらいたい。そのことは、医学教育の課程の中でも難関の一つである2年次の基礎医学の学びに、有機的な連関をもたらすものとなる。

内容としては、まず本学の成果基盤型教育の骨格と自己主導型学修の習慣の重要性を再認識するところからスタートする。次いで医師の臨床技能の初歩と患者理解に不可欠な死生観を身につけた上で、クリニカル・エクスポージャー（CE）1に臨むことが前半の山場となる。矯正医療は特殊な環境での医療を通して医療像、社会像を深める機会である。プロフェッショナルリズムと臨床倫理では、医師の職責を理解し、医師には患者の心を理解しようと努める豊かな人間性と寛容の精神が求められていること、倫理的・法的な規範に則った行動が求められていることを自覚することを理解して、後半のCE2に臨む。医療面接の技法は、模擬患者とロールプレイを行う。また医師として必須の技能である一次救命処置（BLS）を修得する。

「医療入門」ではグループ討論を多く取り入れている。自らの思考をまとめて表現すること、他者の意見を冷静に聞き、他者への建設的な批判ができる能力は生涯成長していける学修者として不可欠の能力であり、スキルアップを目指して積極的に参加することを求める。

2. 講義・実習項目および学修目標

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
1	医学修得の設計図・再び	医学教育	小田康友	2年次の学修の意義と方法を理解する。	講義・討論
2	臨床技能入門①②	医学教育	小田康友	医師に必要な臨床技能を概観し、望診とバイタルサインの技法を身につける。	講義・実習
3	「生と死」	円光寺	五十嵐雄道	死を見つめることを通して、生（生命）の尊さを理解する。	講義・演習
4	クリニカル・エクスポージャー（CE）1	医学教育	小田康友	入院患者との面接を通して、患者の思いを知ることができる。	実習
5	矯正医療見学、講演	法務省		矯正医療を理解する。	見学・講義
6	プロフェッショナルリズム	医学教育	坂本麻衣子	医師としての職責・求められる倫理観・人格等を理解する。	講義・討論
7	臨床倫理「臨床倫理学概論」	熊本市総務局	藤井 可	臨床倫理に必要な基本的な知識を身につける。	講義
8	総合討論	医学教育	小田康友	「医療入門Ⅱ」前半の学習・体験の理解を深める。	討論
9	クリニカル・エクスポージャー（CE）2	医学教育	小田康友	入院患者との面接を通して、患者の思いを知ることができる。	実習

No.	講義・実習項目	所属	担当者	学修目標	形式
10	Basic Life Support (BLS)	救命救急センター	阪本雄一郎	Basic Life Supportを行うことができる。	実習
11	医療面接の技法	医学教育	小田 康友 木本 晶子	医療面接の初歩的技法を身につける。	実習
12	医療面接ロールプレイ録画	医学教育	小田 康友	医療面接における患者の立場を体験する。 医師としてふさわしい言動・態度について省察する。	実習
13	医療入門Ⅱまとめ	医学教育	小田 康友	「医療入門Ⅱ」の学びを総括する。	講義・討論

学修目標（各文末には相当するコア・カリキュラムの番号を記載した）

- 1) 6年間の学修のゴールとプロセスを描き、2年次の学びの方略を理解する。LL-01-01-02、LL-01-02-02、LL-02-01-01、RE-01-01
- 2) 基本的臨床技能の基本である望診・バイタルサイン及び医療面接の技法と態度を習得する。CS-01-02-02、CS-01-02-03、CS-01-01-01、CS-01-01-02、CM-01-01-01、CM-01-01-02
- 3) 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。CS-01-01-03、CM-01-01-03、CM-01-02-01、CM-01-02-02
- 4) 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。PR-04-01
- 5) 医師のプロフェッショナリズムを理解し省察する習慣を身につける。PR-01、PR-01-02、PR-02-03
- 6) 本学臨床系講座・診療部門の活動を通してチーム医療の実態を理解する。IP-02-01、IP-02-02、IP-02-03、IP-02-04
- 7) 患者の基本的権利を説明できる。PR-04-01-02、CM-02-03-02
- 8) 矯正医療の見学を通して、医療制度や社会への視野を広げる。SO-01-02-01、SO-04-07-01、SO-06-01-02
- 9) Basic Life Supportの実習を通して、救急の初期対応能力を身につける。CS-03-03-02

3. 評価の方法と基準

1) 評価の方法

- ・学修目標1)～9)については、以下により評価する。
- ・講義での小レポート、見学や実習のレポート。演習（小グループ討論）ではプロダクトをレポートとみなす。
- ・講義・実習中の態度、少グループ討論での積極性・建設性も加味する。

2) 評価基準

- ・講義の小レポート（50%）、見学や実習のレポート（30%）最終レポート（20%）
 - レポートの評価は、事実の提示と考察の区別、その論理的一貫性や医師としての感性を重視する。
- ・当科目は、医療現場や公共施設での実習、学外専門家を招いての講義・演習を多く含んでおり、プロフェッショナリズムに基づく行動が求められる。アンプロフェッショナルな行動には原則として単位を与えず、悪質と判断すれば懲戒の対象とすることもある。十分に注意して責任ある行動をすること。
 - 遅刻、無断欠席、虚偽の報告、レポート等の提出遅れ
 - 感染対策に従わない行動
 - 講義中の不適切な受講態度（スマホの使用、他の科目の学修、私語、その他他者の学修を妨げる行動）
 - 附属病院や公的施設における不適切・無責任な言動。

3) 評価結果の開示

- ・希望者は、成績発表後1か月以内に、電子メールでアポイントをとってから担当教員を訪ねること。

4. 履修上の注意

- 1) 日程表に挙げた項目、キーワードについてテキスト等を用いて予習・復習する。
- 2) 見学や実習の前には、必ずオリエンテーションを行うので、その指示に従うこと。

CEでは、大学指定の白衣上下、白運動靴着用のこと。

髪の色や形、衣服、靴、アクセサリ、香水等が実習に不適当な場合は、実習に参加できず不合格とする。

- 3) 病気等により欠席した者はその都度教科主任に申告し了解を得ること。
- 4) 提出期限を過ぎたレポート等は受けつけず、評価の対象としない。

5. テキスト等

テキストはない。指定図書目録は別途配布する。

6. 日 程 表

No.	月 日	時限	項 目	キーワード	担当	対象学生	方法等	講義室
1-2	4月2日 (水)	1,2	医学修得の設計図・再び1	カリキュラム、評価、共用試験、医師国家試験	小田	全	対面	臨床小講堂 3113号室
3-4	4月9日 (水)	3,4	医学修得の設計図・再び2	医療実践、基礎医学、臨床医学	小田	全	対面	臨床小講堂 3113号室
5-6	4月16日 (水)	3,4	医学修得の設計図・再び3	人間の機能と構造、医療実践像	小田	全	対面	臨床小講堂 3113号室
7-8	4月23日 (水)	3,4	臨床技能入門①	臨床技能、望診、バイタルサイン	小田	全	対面	臨床小講堂 3113号室
9	5月8日 (木)	2	前期実習オリエンテーション	早期臨床現場体験、臨床技能、バイタルサイン、矯正医療	小田	全	対面	臨床小講堂 3113号室
10-12	5月14日 (水)	3,4,5	講演「生と死」	死の視点から生を考える、生命の尊厳、死の準備教育、終末期医療	五十嵐	全	対面	臨床大講堂
13-14	5月21日 (水)	3,4	CE-1A/臨床技能入門②/矯正医療見学	早期臨床現場体験、臨床技能、バイタルサイン、矯正医療	小田	グループA,B,C	対面	第5講義室 3階スキルスラボ
15-16	5月28日 (水)	3,4	CE-1B/臨床技能入門②/矯正医療見学	早期臨床現場体験、臨床技能、バイタルサイン、矯正医療	小田	グループA,B,C	対面	第5講義室 3階スキルスラボ
17-18	6月4日 (水)	3,4	CE-1C/臨床技能入門②/矯正医療見学	早期臨床現場体験、臨床技能、バイタルサイン、矯正医療	小田	グループA,B,C	対面	第5講義室 3階スキルスラボ
19	6月11日 (水)	3	講演「矯正医療」	矯正施設、受刑者、有病率、矯正医官	法務省	全	対面	臨床大講堂
20		4	プロフェッショナルリズム	プロフェッショナルリズム、Fitness to practice	坂本	全	対面	臨床大講堂
21-22	6月25日 (水)	3,4	臨床倫理「臨床倫理学概論」	生命倫理学、医療倫理学、倫理綱領、四分割表(五分割表)、インフォームド・コンセント	藤井	全	対面	臨床大講堂
23-24	7月2日 (水)	3,4	総合討論	総合討論	小田	全	対面	試験室 看護学科6階
25	9月3日 (水)	2	後期実習オリエンテーション	早期臨床現場体験、一次救命処置、患者医師関係、情報収集	小田	全	対面	第2講義室

No.	月日	時限	項 目	キーワード	担当	対象学生	方法等	講義室
26-27	9月10日 (水)	3,4	CE-2A/BLS/医療面接	早期臨床現場体験、一次救命処置、患者医師関係、情報収集	小田 阪本	グループA,B,C	対面	第2講義室 3階スキルスラボ 2階実習室
28-29	9月17日 (水)	3,4	CE-2B/BLS/医療面接	早期臨床現場体験、一次救命処置、患者医師関係、情報収集	小田 阪本	グループA,B,C	対面	第2講義室 3階スキルスラボ 2階実習室
30-31	9月24日 (水)	3,4	CE-2C/BLS/医療面接	早期臨床現場体験、一次救命処置、患者医師関係、情報収集	小田 阪本	グループA,B,C	対面	第2講義室 3階スキルスラボ 2階実習室
32-33	10月1日 (水)	3,4	医療面接ロールプレイ 録画	コミュニケーション、 患者医師関係	小田	全	対面	第2講義室 PBL学習室
34-35	10月8日 (水)	3.4	医療入門Ⅱまとめ	総括	小田	全	対面	3階実習室

Phase Vのうち， 2 年次で履修できる選択コースについて

選択コースの実施及び履修に関する取扱要項

基礎系・臨床系選択科目

地域枠入学生特別プログラム

佐賀大学医学部医学科選択コースの実施及び履修に関する取扱要項

平成17年3月17日
制 定

(趣 旨)

第1条 佐賀大学医学部医学科授業科目の選択コースの実施及び履修に関しては、佐賀大学医学部規則及び佐賀大学医学部履修細則に定めるもののほか、この要項の定めるところによる。

(選択コースの位置づけ)

第2条 選択コースは、全ての学生に必須のコア・カリキュラムに対して、さらに学習を深化させるためのアドバンスド・カリキュラム並びに学習内容の多様化を推進するためのカリキュラムとして実施する。

(選択コース科目)

第3条 選択コースは、次の各号の授業科目区分により選択科目を開設する。

(1) 基礎系・臨床系選択科目

基礎系・臨床系の教育・研究分野に関連した学習を深化させるための科目を2年次以降に順次開設する。

(2) 地域枠入学生特別プログラム

佐賀県内医療者との交流や医学学習への意欲向上を目的とする地域枠入学生特別プログラムを、1年次から開設する。

(3) 特定プログラム教育科目

佐賀大学学部間共通教育科目履修規程（平成25年2月27日制定）による特定プログラム教育科目を履修した場合には、選択コースの単位として認めることができる。

(4) 学外研修・ボランティア等

多様で幅広い学習を推進するために、学外での研修やボランティア活動等が選択コース科目としての水準を満たす場合には、選択コースの単位として認めることができる。

(科目の開設)

第4条 選択コース科目の開設は、教授、准教授又は講師が科目担当責任者（教科主任）として開設し、毎年度更新する。

2 科目開設にあたっては、対象学年、受講者数等に制限を設けることができる。

(開設様式と単位)

第5条 選択コース科目は、次の各号の様式及び単位換算で開設する。

(1) 定期的授業

90分15回の授業を1ユニットとして開設する方式。15回（30時間）を1単位とする。

(2) 終日連続集中授業

終日2週間連続の総合授業（講義、演習、実習等の組合せ）を1ユニットとして開設する方式。1週40時間を1単位（2週間で2単位）とする。

(3) 間歇的集中授業

終日連続ではないが、集中的な総合授業（講義、演習、実習等の組合せ）を積み重ねる方式。40時間分を1単位とする。

(科目の開講)

第6条 選択コース科目の開講時期及び時間帯は、科目担当責任者が予め設定若しくは科目担当責任者が履修希望

学生と相談の上決定する等、科目担当責任者の裁量とする。

(成績の評価)

第7条 第3条第1項第1号から第3号に規定する選択コース科目の成績評価は、科目担当責任者の責任において行う。

2 第3条第1項第4号に規定する学外研修・ボランティア等の選択コース科目認定については、教育委員会で審査する。ただし、基礎系・臨床系選択科目として学外で学習したものは、学外研修とせず、基礎系・臨床系選択科目として扱う。

(履修要件と制限)

第8条 第3条第1項第1号から第4号に規定する選択コース科目の中から、6単位以上の修得を卒業要件とするが、卒業要件単位としては、特別プログラム教育科目からは2単位、学外研修・ボランティア等からは1単位を上限とする。

(履修方法)

第9条 1年次から4年次までの履修希望学生は、選択コース科目担当者と相談の上、履修手続きを行うものとする。ただし、アドバンスドコースとして位置づけられる選択コース科目の場合は、原則として、関連授業科目を修得した後に履修するものとする。

2 5年次及び6年次の学生は、クラスごとに履修希望調整の後、履修手続きを行うものとする。

附 則

- 1 この要項は、平成17年4月1日から実施し、平成16年度以降の医学科入学者から適用する。
- 2 この要項の実施の際、医学科に平成15年度以前に入学した者の選択コースの実施及び履修に関する取扱は、なお従前の例による。

附 則（平成19年3月8日改正）

この要項は、平成19年4月1日から実施する。

附 則（平成23年12月8日改正）

- 1 この要項は、平成23年4月1日から実施する。
- 2 この要項の実施の際、医学科に平成22年度以前に入学した者の選択コースの実施及び履修に関する取扱は、なお従前の例による。

附 則（平成25年1月16日改正）

- 1 この要項は、平成25年4月1日から実施する。
- 2 この要項の実施の際、医学科に平成24年度以前に入学した者の選択コースの実施及び履修に関する取扱は、なお従前の例による。

基礎系・臨床系選択科目

教科主任 副 島 英 伸

1. 概要

「基礎系・臨床系選択科目」は、Phase Vに属し、「区分A研究プログラム」と「区分B発展的学修・実習プログラム」あわせて60を超えるプログラムで構成されている。「区分A研究プログラム」は、基礎系（基礎医学及び社会医学）プログラムであり、2年次2月から3月までの間に2単位以上修得しなければならない。「区分B発展的学修・実習プログラム」は臨床系プログラムであり、5～6年次に選択することができる。卒業要件として、「区分A研究プログラム」と「区分B発展的学修・実習プログラム」を合わせて6単位以上修得することが必要である。

「区分A研究プログラム」では、1～2年次に学修した基礎系科目に関連する分野やさらに深めたい分野などについて、各講座や研究グループから提示されたテーマの中から選択して履修する。医学研究の方法論と研究倫理を理解し、問題解決のための科学的思考・技法を用いて新たな知見や論理を発見する研究マインドを涵養することを目的とする。このため、各講座や研究グループにおいて、研究課題や仮説の設定、研究デザイン、サンプリング、解析、考察、一般化といった研究の一連のプロセス全体、あるいはその一部に学生が参加し、実践する。

2. 講義・実習・演習項目および学修目標

- 1) 医学的研究（基礎研究、臨床研究、疫学研究）の方法論と倫理を理解し遵守できる。
- 2) 未解決の医療・医学的問題に着目し、解決に取り組む積極的な姿勢を身につけている。
- 3) 問題解決のために情報の質を吟味し、論理的・批判的な思考ができる。

3. 評価の方法と基準

- 1) 2年次の配属マッチング時に別途配布した各プログラムの資料を参照すること。

4. 履修上の注意

- 1) 2年次後期に配属研究室を決めるためのマッチング（配属マッチング）を行う。別途配布する各プログラムの資料を参照すること。
- 2) 本科目の導入的な位置付けとして以下の2つの講義が開講されている。
 - ・基本教養科目「生命科学の基礎C：医学・看護学研究の勧め」
医学研究の最新の話題を、主に基礎医学系の研究室を中心に提供する（全15回）。基本教養科目の選択科目であるが、医学科2年次生は必修とする。
 - ・研究倫理講義（担当者：地域医療科学教育研究センター 坂本麻衣子）
医学研究において研究倫理に関する知識の修得は不可欠であり、2年次の12月上旬に、全員必修の講義として実施している。この講義を通して、医学研究の意義、研究への心構え、倫理的配慮すべき点などについて学習する。学修目標は以下のとおりである。
 - ① 医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。
 - ② 過去の臨床研究、臨床試験での事件や訴訟における問題点について概説できる。
 - ③ 臨床試験・治験に関連する憲章や指針、治験審査委員会・倫理審査委員会（institutional review board：IRB）を説明できる。
 - ④ 薬物による副作用や有害事象の報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。

基礎系選択科目一覧表（参考 令和6年度2年次向け）

●研究プログラム対象科目

番号	題 目	週数	担 当 者	年間受入人数
A01	CRISPR/Cas9によるゲノム・エピゲノム編集入門	2～4	副島、原聡史	2名
A02	多能性幹細胞の分化誘導とエピゲノム解析	2～4	副島、一丸	2名
A03	分子生物学実験法	原則2	出原、布村、南里	2名
A04	遺伝子改変技術の基本と遺伝子機能解析入門	4	吉田、三宅	7～8名
A05	免疫学実験法	4		
A06	タンパク質の発現と機能解析	2	池田義孝、井原、岡田	4名
A07	人体構造研究入門	2	倉岡、川久保、大野	4名
A08	自然人類学入門	2	菊池	3名
A09	分子細胞生物学的研究	2～4	城戸、吉本	4名
A10	心臓イオンチャネルのパッチクランプ入門	4～6	塩谷	2名
A11	記憶・学習メカニズムの電気生理学的解析	2～4	安田、惣谷	2～3名
A12	生物学的精神医学研究法	2～4		
A13	英語論文を用いて行う質問力を鍛えるための実践的トレーニング	2～4	鬼頭	4名
A14	実践的病理診断のイロハ ～学習と検鏡を中心に～	2	加藤、木戸、橋口	3名
A15	細胞と遊ぶー生命現象ことはじめ	4	青木、西山、他	4名
A16	細菌感染実験研究法（レジオネラの細胞内増殖アッセイ）	2～4	宮本、菖蒲池	4名
A17	予防医学・疫学研究入門	4	原めぐみ	5～6名
A18	血圧調節に関わる遺伝子の遺伝子多型が運動による血圧変化に及ぼす影響	2	西田	2名
A19	環境医学・産業医学研究	2～4	市場、松本	7～8名
A20	法医診断学	2	池田知哉	3名
A21	医療データ解析法	4	川口	4名
A22	生体時系列情報非線形解析	4	富永	2～4名
A23	神経心理学の研究概論	2	坂本	4名
A24	臓器再生医工学入門	2	中山、村田 他 (※本庄キャンパス)	4名
A25	発生工学手法を用いた疾患モデル動物の作製	2～4	北嶋、松久	4名
A26	がん治療薬の開発研究入門	2	木村、嬉野、山本雄大	2～4名

●3～4年次で履修可能なその他の選択科目（研究プログラム対象外）

B01	ハワイ大学臨床推論ワークショップ	2	小田、青木、福森	前期4,後期4
B02	医学教育体験実習 (肉眼解剖学アドバンスドコース)	2～4	倉岡、菊池、川久保	最大10名程度

地域枠入学生特別プログラム

地域枠入学生特別プログラムの概要

本プログラムは、地域枠入学生（佐賀県推薦入学、学校推薦佐賀県枠）の医学生を対象に開発された特別なプログラムである。2021年（令和3年）より「地域枠」の定義が見直され、佐賀県推薦入学生のみが狭義の「地域枠」となったが、学校推薦佐賀県枠入学生も広義の「地域枠」とし「地域枠入学生特別プログラム」という呼称を継続して使用する。

本プログラムは必修ではなくPhase V（選択コース）と位置付けられているが、一般の学生が履修する選択コースの単なる“代わり”ではなく、今後のキャリア形成を考える上で地域枠学生には“不可欠な”コースと考えられる。選択コースとして認定される単位は2単位までと定められているため、2単位を超えた分は加算されないが、できるだけ多くのプログラムへの参加が望ましい。

本プログラムでは地域枠入学生を優先するが、それ以外の学生も単位修得が可能である（下表参照）。応募者多数の場合は医師育成・定着支援センターで調整を行うことがある。

授業名	地域枠医学科生		地域枠以外の 医学科生
	佐賀県推薦入学	学校推薦佐賀県枠	
(1) 基幹病院・中核病院実習	◎	◎	△
(2) 地域医療／キャリア形成セミナー	◎（＊）	◎	○
(3) 夏期地域医療実習	◎（＊）	△	△
(4) 学外チューター制度	◎（＊）	×	×
(5) 西部医療圏等での病院実習	◎（＊）	○	○

◎：原則参加，○：参加可能，△：若干名のみ参加可能，×：対象外

＊キャリア形成卒前プラン：修学資金の貸与を受け、卒業後に「キャリア形成プログラム」の適応を受ける地域枠の医学生が、卒業前の学生の時から地域医療マインドを育むため、都道府県が策定した地域医療に関する実習等のこと。2021年（令和3年）から医療法で規定された。

なお、医師育成・定着支援センターでは、佐賀県から任命された4名のキャリアコーディネーター（医師）が全医学科生を対象に「キャリア支援面談」を行っている（地域枠医学生は必須）。大いに活用し、今後のキャリア形成の一助にして欲しい。

学士力番号 2－（2）

全プログラム共通

1. コースの概要

将来佐賀県の地域医療に貢献する医師となるために、県内の地域医療提供体制や地域医療の実際を学ぶことを目的としている。県内の医療関係者や将来佐賀県の医療に従事する自大学・他大学の医学生との交流を通して、学修のモチベーションを高め、自分がどのような能力を修得しないといけないかを継続的に考える習慣を身につけることができるよう、複数のプログラムから構成されている。

本学の卒業時学修成果に掲げられている、プロフェッショナルリズム、コミュニケーションと協働、国際的な視野に基づく地域医療への貢献、全大学が共通して取り組むべき「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に掲げられている、PR、GE、LL、CM、IP、SOに関しては、どのプログラムでも共通して修得することができ

る（文末の表を参照）。

2. 実習項目および学修目標

（実習項目）講義，実習，グループ討論など

（学修目標）

- ・佐賀県内の地域医療提供体制を知り，地域医療の現状と課題について理解する。
- ・地域医療の学修のモチベーションを高め，今後の自己学修目標を考える。
- ・自分のキャリア形成に継続的に関心を持つ。
- ・将来佐賀県の医療に従事する自大学・他大学の医学生や県内の医療関係者と積極的に交流し良好な関係を構築する。
- ・チーム医療の重要性や介護・福祉との連携の必要性を理解する。
- ・地域医療に従事する理想の医師像を継続的にイメージしていく。

3. 評価の方法と基準

1) 評価方法 観察記録及びレポート

2) 評価基準 実習への参加姿勢と指定のレポートの内容から総合的に評価する。

3) 評価結果の開示 希望する場合は，電子メールで担当教員に申し込むこと。

4. 履修上の注意

講義は自分の将来にどのように役立つか関連付けながら集中して聴講すること。実習中は指導医のみならず，全ての医療スタッフ及び実習に協力して下さる患者さん方への感謝の気持ちを忘れずに行動すること。服装・髪・爪の清潔さなど身だしなみには十分注意し，きちんと挨拶をする等医学生としての自覚を持って行動すること。白衣が必要な実習に関しては別途連絡をする。

5. テキスト等 特になし

6. 日程表 各コースの記載を参照

7. リソースパーソン／担当者一覧／連絡先

江村 正，徳島 緑，七條 千佳，実習関連施設の指導者，学内外の講師

連絡先 医師育成・定着支援センター（ ）

（1）佐賀県内基幹病院・中核病院実習

1. コースの概要

佐賀県内の基幹病院・中核病院での実習を通し，基幹病院・中核病院に求められている役割を理解し，早期から佐賀県の地域医療に関心を持つ。実習初日にオリエンテーション，講義等を行い，翌日から3日間下記の医療機関で実習を行う。最終日にグループ討論，まとめ，評価を行う。

2. 実習項目および学修目標

（学修目標）

- ・佐賀県内基幹病院・中核病院に求められている役割を理解する。

3. 4. 5. 7. 全プログラム共通を参照

6. 日程表

学習日数 1 週（1 単位修得） 受入人数 1 施設に1～2 名（原則2 名）

実施時期 夏季休暇最後の週（令和6 年は9 月9 日～9 月13 日に行った）

対 象 医学科1 年生（地域枠学生を優先とする）

実施場所 佐賀県医療センター好生館，NHO佐賀病院，NHO嬉野医療センター，唐津赤十字病院，唐津市民病院きたはた，佐賀市立富士大和温泉病院，町立太良病院，伊万里有田共立病院，小城市民病院，織田病院（鹿島市），山元記念病院（伊万里市），今村病院（鳥栖市）（予定）

（２）地域医療セミナー／キャリア形成セミナー

１．コースの概要

県内外の地域医療の現状や課題についての理解を深める講演や，医師のキャリア形成に関する講演である。

２．講義・実習項目および学習目標

（学修目標）

- ・佐賀県内外における医療の現状を知る。
- ・さまざまな分野の講師等との交流を通して自分のキャリア形成を考える。

３．４．５．７．全プログラム共通を参照

６．日程表

学習日数 １回の参加で0.1単位修得

実施時期 適宜開催（医師育成・定着支援センターが主催・共催もしくは当センターが認めた講演・学術集会）。LiveCampusや学内掲示板等で連絡を行う。通常は講師の都合で17：30から行うが，可能であればいわゆる５コマ目（16：20－17：50）に行う。また学術集会等は土曜日，日曜日にも開催される。

対 象 医学科１年生～６年生

（３）夏期地域医療実習（自治医科大学・佐賀大学・長崎大学合同夏期実習）

１．コースの概要

佐賀県出身の自治医科大学大学生及び長崎大学医学部の佐賀県枠学生との合同実習である。佐賀県健康福祉部医務課の協力を得て企画・運営する。将来佐賀県の地域医療に貢献する予定の医学生と離島やへき地に行き，佐賀県の地域医療の実際を体験する。地域医療へのモチベーションを高めることを目的とする。

２．実習項目および学修目標

（学修目標）

- ・離島やへき地の医療（在宅医療を含めて）を理解する。
- ・地域住民のニーズを知る。
- ・離島やへき地の抱える諸問題に関心を持ち，解決策を考える姿勢を維持する。
- ・将来佐賀県で働く学生同士と積極的に情報交換を行う。

３．４．５．７．全プログラム共通を参照

６．日程表

学習日数 ３日（0.6単位）（予定）

実施時期 夏期休暇中（令和６年は８月７日から９日まで二泊三日で行った。）

対 象 医学科１～４年生（佐賀県推薦入学の上級生優先とする）

連 絡 先 医師育成・定着支援センター（[http://www.shikoku.ac.jp/](#)）

実施場所 佐賀県内の協力施設（予定）

(4) 学外チューター (alumni tutor) 制度

1. コースの概要

佐賀県で地域医療を行っているロールモデルの医師 (学外チューター, alumni tutor) と入学時早期より交流するプログラムである。学外チューターや他の医療スタッフとのミーティングやその医師の所属する医療施設の見学等を行う。

2. 実習項目および学修目標

(学修目標)

- ・地域医療に従事する理想の医師像を継続的にイメージしていく。

3. 4. 5. 7. 全プログラム共通を参照

6. 日程表

学習日数	年に数回, 数時間/回 (0.1単位/回)
実施時期	適宜 (土曜日午前中または休暇中の平日など)
対 象	医学科 1 年生 (令和 7 年度は佐賀県推薦入学生のみを対象)
連 絡 先	医師育成・定着支援センター ()
実施場所	佐賀県内の協力医療機関

(5) 西部医療圏等での病院実習

1. コースの概要

佐賀県の医師不足地域である西部医療圏などの医療機関を10名程度の医学生で訪問し, 講義や実習等を通して, その地域を知り, 地域医療の現状と課題を理解するプログラムである。

2. 実習項目および学修目標

(学修目標)

- ・医師不足地域特有の医療の課題を理解する。
- ・課題の解決策を学ぶ。
- ・地域を知る。

3. 4. 5. 7. 全プログラム共通を参照

6. 日程表

学習日数	1 年に 1 回 (0.2単位/回)	受入人数	1 回10名程度
実施時期	適宜		
対 象	全医学科生		
実施場所	西部医療圏等の協力医療機関		

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和４年度改訂版）

キャッチフレーズ「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」

PR：プロフェッショナリズム（Professionalism）

人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。

GE：総合的に患者・生活者をみる姿勢（Generalism）

患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。

LL：生涯にわたって共に学ぶ姿勢（Lifelong Learning）

安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。

RE：科学的探究（Research）

医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。

PS：専門知識に基づいた問題解決能力（Problem Solving）

医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。

IT：情報・科学技術を活かす能力（Information Technology）

発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。

CS：患者ケアのための診療技能（Clinical Skills）

患者の苦痛や不安感に配慮し、確実に信頼される診療技能を磨き、患者中心の診療を実践する。

CM：コミュニケーション能力（Communication）

患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。

IP：多職種連携能力（Interprofessional Collaboration）

医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。

SO：社会における医療の役割の理解（Medicine in Society）

医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。

6 学位授与の方針 教育課程編成・実施の方針

医学部医学科 学位授与の方針

【学位授与の方針】

佐賀大学学士力を踏まえ、学生が身に付けるべき以下の具体的学習成果の達成を学位授与の方針とする。また、学則に定める卒業の認定の要件を満たした者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。

1. 知識と技能

- (1) 文化・自然・現代社会と生活に関する授業科目を履修・修得し、基礎的な知識と技能ならびに多様な文化と価値観を理解するとともに、それらの知識を基に、医療職者としての自己の存在を歴史・社会・自然・人間生活と関連付けて理解できる。
- (2) 言語・情報・科学リテラシーに関する授業科目を履修・修得し、日本語と英語を用いたコミュニケーション・スキルを身に付け、情報通信技術（ICT）などを用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- (3) 医学・医療分野の基礎的な知識・技術を体系的に修得し、医師としての業務を遂行する職業人として必要な実践能力を有する。

2. 課題発見・解決能力

- (1) 実践演習型学習や問題解決型学習を通して地域における医療・保健・福祉・医療経済など包括医療を巡る動向等を含む現代的な課題に関心・理解を持ち、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、科学的・論理的な思考に基づいて、その問題の解決に取り組むことができる。
- (2) 研究室選択コース等の学習により医学・医療の進歩における生命科学・臨床医学研究の必要性を理解し、課題解決に向けての基本的研究技能と研究マインドを身に付けている。
- (3) グループ学習や臨床実習を通して人間理解に立った良い人間関係の形成、医療チームの一員としての協調・協働した行動、リーダーシップを発揮する率先した行動、後輩等に対する指導力などを身に付け、実践できる。

3. 医療を担う社会人としての資質

- (1) 問題解決型学習などを通して自己学習の習慣を身に付け、絶えず医療の質の向上に向けて生涯学習を行う意欲と態度を有する。
- (2) 6年間の教養教育及び専門教育課程を通して高い倫理観と多様な文化や価値観を理解しうる豊かな人間性を育み、医師の責務を自覚して継続的に社会に還元する強い志を有し、自らを律して社会および医師の規範に従って行動できる。

医学部医学科 教育課程編成・実施の方針

【教育課程編成・実施の方針】

教育方針を具現化するために、以下の方針の下に教育課程を編成し、教育を実施する。

1. 教育課程の編成

- (1) 効果的な学習成果を上げるために、教養教育科目と専門教育科目を順次的・体系的に配置した6年一貫の教育課程を編成する。
- (2) 教養教育において、市民社会の一員として共通に求められる基礎的な知識と技能に関する授業科目（基本教養科目）、市民社会の一員として思考し活動するための技能に関する授業科目（外国語科目、情報リテラシー科目）、現代的な課題を発見・探求し、問題解決につながる協調性と指導力を身につけさせるための授業科目（大学入門科目、インターフェース科目）を、幅広く履修できるように配置する。
- (3) 教養教育における市民社会の一員として思考し活動するための技能に関する教育は、初年次から開講し、基礎的な汎用技能を修得した上で、専門課程における応用へと発展的な学習に繋げる。
- (4) 医師として必要な素養、知識、技術を身に付けるための基本的事項を学習する専門教育科目（コア・カリキュラム）を、以下の「専門基礎科目」、「基礎医学科目」、「臨床・社会医学科目」、「臨床実習」に大別し、Phase I～Vの区分により1～6年次まで段階的に配置する。
 - ・「専門基礎科目」：高い倫理観と豊かな人間性を育むことを目標とした総合人間学（倫理、心理、法制、福祉、生活支援など）の授業科目で構成する。
 - ・「基礎医学科目」：医学に必要な基礎的な知識と技能を学ぶ授業科目（分子生物学Ⅰ・Ⅱ、免疫学、人体発生学、組織学、神経解剖学、肉眼解剖学概説、肉眼解剖学、生化学、動物性機能生理学、植物性機能生理学、薬理学、微生物学、病理学）で構成する。
 - ・「臨床・社会医学科目」：疾病とそのメカニズムに関する総合的な内容を人体の機能・系統別に学習する授業科目で構成し、知識の習得とともに、自己学習の習慣を身につけ、科学的論理的思考に基づいた問題解決に努めることを目標として少人数グループの問題解決型学習方式で実施する。
 - ・「臨床実習」：医学の知識・技術ならびに医師としての実践能力を習得するとともに、地域社会における医療の意義を理解し、医師の責務への自覚を培うキャリア教育の場として、またチーム医療の一員として他者と共感して良い人間関係を作る実践の場として、医学部附属病院と地域の医療機関との連携の下に実施する。
- (5) 学生の目的に応じた分野を自主的に発展させていくアドバンスド・コース科目（研究室等に配属する基礎系・臨床系選択コース、海外研修コースなど）をPhase Vとして開設する。

佐賀大学学士力と科目区分との対応表

学士力（大項目）	学士力（小項目）	科目区分
1. 基礎的な知識と技能	(1) 市民社会の一員として共通に求められる基礎的な知識と技能	基本教養科目
	(2) 市民社会の一員として思考し活動するための技能	外国語科目
		医学英語
		情報リテラシー科目
	(3) 専門分野に必要とされる基礎的な知識・技能	専門基礎科目
		基礎医学科目

2. 課題発見・解決能力	(1) 現代的課題を見出し、解決の方法を探る能力	大学入門科目
		インターフェース科目
	(2) プロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力	臨床・社会医学科目
		臨床実習
	(3) 課題発見につながる協調性と指導力	選択科目
		大学入門科目
		インターフェース科目
		臨床・社会医学科目
3. 個人と社会の持続的発展を支える力	(1) 多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力	臨床実習
		インターフェース科目
	(2) 地域や社会への参画力と主体的に学び行動する力	インターフェース科目
		臨床実習
	(3) 高い倫理観と社会的責任感	インターフェース科目
		臨床実習

2. 教育の実施体制

- (1) 授業科目の教育内容ごとに、その分野の授業を行うのに適した専門性を有する教員が講義・実習等を担当するよう担当教員を配置する。
- (2) 各授業科目に教科主任を置き、複数の担当教員により実施する授業の一貫性を担保するなど、授業科目を統括する。
- (3) 各Phaseにチェアパーソンを置き、Phase内およびPhase間の教育内容および実施の整合性・統合性を図る。

3. 教育・指導の方法

- (1) 講義による知識の学習と実験・実習による実証的学習や体験学習とをバランスよく組み合わせて学習成果を高める。
- (2) グループダイナミクスによる自己学習と問題解決法の獲得などの効果を狙った問題解決型学習（PBL，CBL）や演習を積極的に取り入れる。
- (3) 少人数の学生グループごとに指導教員（チューター）を配置し、きめ細かな履修指導や学習支援を行う。

4. 学修成果の評価

- (1) 授業科目の学修成果を評価するために、授業科目担当教員は、到達目標に応じて、筆記試験，レポート（論文），発表，活動内容等により多面的評価を行う。
- (2) 個別の授業科目の成績評価方法については、シラバスに明示する。
- (3) 成績の評語（評価）は、100点を満点とした評点又は評価基準に基づき判定するものとし、評点及び評価基準は、次の表に掲げるとおりとする。

評語 (評価)	評点	評価基準	合否 判定	成績評定 (G P)
秀	90点以上	学修到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を 上げている	合格	4
優	80点以上90点未満	学修到達目標を十分に達成している。		3
良	70点以上80点未満	学修到達目標をおおむね達成している。		2
可	60点以上70点未満	学修到達目標を最低限達成している。		1
不可	60点未満	学修到達目標を達成していない。	不合格	0

※上記により評価が難しい授業科目は、合又は不可の評語によって表し、合を合格とし、不可を不合格とする。

- (4) 各Phaseの終了時に、各学生の学修到達度を評価し、進級判定を行う。
- (5) 全国共通の共用試験による臨床実習適格認定審査ならびに卒業認定試験を実施し、医師として必要な実践能力（統合された知識、技能、態度・行動に基づく総合的診断能力）の修得状況を判定する。
- (6) 教育課程を通した学修成果を、学士力項目の達成状況（ルーブリック評価等）及び各授業科目の成績を用いて総合的に評価する。
- (7) 成績評価の結果は、評価分布等を使用して定期的に点検を行い、必要に応じて教育方法等の改善を行う。

7 その他

コースナンバリングについて

○コースナンバリングとは

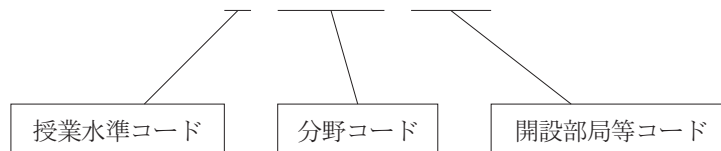
佐賀大学では、学生が受講する授業科目について、その学問分野と水準を容易に確認して主体的に学ぶことを支援するとともに、教育組織による学問分野と水準に基づいた教育カリキュラムの体系性や順次性の検証・改善に資するために、授業科目に番号を附し、授業科目の学問分野と水準等を示すコースナンバリング制度を導入します。

○コースナンバリングの意味

コースナンバーは、「授業水準」―「分野」―「開設部局等」からなる8桁の文字列で構成されています。

例：物理学の世界 I 1 220x-000

免疫学 2 491x-211



○各コードは、次の①から③に定める内容を示しています。

① 授業水準コード（1桁）

授業水準は、下記に示す1から5の5段階を数値で示す。

入門的・導入的（1年次履修程度）専門基礎	: 1
中程度の内容（2～4年次履修程度）専門必修	: 2
応用・高度な内容（5～6年次履修）専門選択・卒業制作・研究など	: 3
修士課程・博士前期課程	: 4
博士後期課程・博士課程	: 5

② 分野コード（4桁）

授業科目が対象とする主たる学問分野を日本図書分類要目表（第3次区分表）に基づき分類したコード（3桁）と各部局が定義できるアルファベット小文字（1桁）から構成されています。

（3桁＋1桁（アルファベット小文字）＝4桁）

・要目表による3桁の附番を原則とし、いずれの番号にも該当しない場合は、各学部がルールを定めて意味を定義し、アルファベットを附番しています。附番しない場合は、アルファベットの「x」を使用しています。

③ 開設部局等コード

開設部局等（学部・学科等）を示す3桁の数値で構成されています。

原則、学籍番号8桁（22211***）の「211」を利用する。（「211」は医学科を示す。）

【医学科】 **コースナンバリング（令和5年度以降入学生）**

区分	授 業 科 目	コース ナンバリング	区分	授 業 科 目	コース ナンバリング
専門基礎科目	生命倫理学	1491x-211	臨床実習・社会医学科目	臨床医学入門	2492x-211
	行動科学原論	1491x-211		循環器	2492x-211
	医療入門Ⅱ	1491x-211		呼吸器	2492x-211
	医療統計学	1491x-211		消化器	2492x-211
	物理学	1491x-211		代謝・内分泌・腎・泌尿器	2492x-211
	化学	1491x-211		血液・腫瘍・感染症	2492x-211
	生物学	1491x-211		皮膚・膠原	2492x-211
基礎医学科目	分子生物学Ⅰ	2491x-211		運動・感覚器	2492x-211
	分子生物学Ⅱ	2491x-211		精神・脳・神経	2492x-211
	免疫学	2491x-211		小児・女性	2492x-211
	人体発生学	2491x-211		救急・麻酔・総合診療	2492x-211
	組織学	2491x-211		社会医学・医療社会法制	2498x-211
	神経解剖学	2491x-211		統合医療	2492x-211
	肉眼解剖学概説	2491x-211		医学英語	2492x-211
	肉眼解剖学	2491x-211	臨床実習	臨床実習	3492x-211
	生化学	2491x-211		地域医療実習	3492x-211
	動物性機能生理学	2491x-211		関連教育病院実習	3492x-211
	植物性機能生理学	2491x-211	選択コース	基礎系・臨床系選択科目	3492x-211
	薬理学	2491x-211		地域枠入学生特別プログラム科目	3492x-211
	微生物学	2491x-211		特定プログラム教育科目	3492x-211
	病理学	2491x-211		学外研修・ボランティア等	3492x-211

※実務経験のある教員による授業科目について

「臨床・社会医学科目」と「臨床実習」の区分に属する全科目は、医師の実務経験を有している教員が臨床医学の実践的な教育を行う科目である。

アクティブラーニングについて

本学では、学生の能動的な学びを生み出すため、アクティブラーニング教育手法の導入を推進しています。

アクティブラーニングとは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修過程の中に知識獲得だけではなく、他者との協働を伴った「書く・話す・発表する」等の思考を活性化する活動があり、佐賀大学学士力が求める基礎的・汎用的能力の育成につながるような学修法と位置づけています。

アクティブラーニング教育手法の内容に応じて、以下に示すようにカテゴリ0からカテゴリ4までの5段階に分類しています。

アクティブラーニングのカテゴリ及び内容等について

カテゴリ	内 容
4	学生が自ら主体となって、学修の方向性を定め、問題解決に導くための授業。
3	グループや個人で行った能動的学修の成果を、教室内外で発表し、その評価を受けたり、質問に対応したりすることにより、学修した内容を深化させるための授業。
2	学生自らが自由に発言し、グループやペアでの協働活動により課題に取り組み、何らかの帰結に到達するための能動的学修の授業。
1	学生からの自由な発言機会はないものの、授業時間中に得られた知識や技能を自ら運用して、問題を解いたり、課題に取り組んだり、授業の振り返りをしたりする能動的学修を行う授業。
0	基本的に学生は着席のまま、講義を聞き、ノートを取り、知識や技能を習得に努める授業。

令和 6 年度 アクティブラーニング導入状況

【医学科】

区分	授 業 科 目	カテゴリー 4	カテゴリー 3	カテゴリー 2	カテゴリー 1	カテゴリー 0
専門基礎科目	生命倫理学	50	30	20	0	0
	行動科学原論	10	30	60	0	0
	医療入門Ⅱ	35	30	10	25	0
	医療統計学	40	0	0	60	0
	物理学	35	0	0	65	0
	化学	25	0	0	75	0
	生物学	25	0	0	75	0
基礎医学科目	分子生物学Ⅰ	15	0	0	85	0
	分子生物学Ⅱ	10	0	0	90	0
	免疫学	20	0	0	80	0
	人体発生学	15	0	0	85	0
	組織学	70	0	0	30	0
	神経解剖学	15	0	0	85	0
	肉眼解剖学概説	10	0	0	90	0
	肉眼解剖学	70	0	0	30	0
	生化学	30	0	0	70	0
	動物性機能生理学	55	0	0	45	0
	植物性機能生理学	45	0	0	55	0
	薬理学	15	0	0	85	0
	微生物学	70	0	0	30	0
	病理学	50	30	20	0	0
	遺伝医学	25	45	0	30	0
機能・系統別 PBL 科目	地域医療	0	20	25	55	0
	消化器	10	0	15	75	0
	呼吸器	10	0	10	80	0
	循環器	20	20	20	40	0
	代謝・内分泌・腎・泌尿器	20	15	15	50	0
	血液・腫瘍・感染症	20	20	20	40	0
	皮膚・膠原	5	20	25	50	0
	運動・感覚器	15	20	0	65	0
	精神・神経	25	0	25	50	0
	小児・女性	10	15	15	60	0
	救急・麻酔	0	15	20	65	0
	社会医学・医療社会法制	30	5	15	50	0
	臨床入門	5	10	55	30	0
	医学英語	0	0	0	100	0
	総括講義	0	0	0	100	0
臨床実習	臨床実習	60	30	10	0	0
	地域医療実習	70	20	10	0	0
	関連教育病院実習	100	0	0	0	0

8 オフィスアワー一覧

オフィスアワーについて

「オフィスアワー」とは、各教員が学生からの個別相談に応じるために設定しているの時間のことです。授業や学習に関する質問や学生生活・進路相談などについての相談があれば、教員は随時相談に応じるのですが、他の授業や会議、診療などで席を離れるため、常に教員室や研究室に居るとは限りません。

そこで、学生の来訪に備えて教員室や研究室で待機し、相談に応じるのに都合が良い時間帯を「オフィスアワー」として、教員ごとに設定しています。

巻末に、医学部全教員の「オフィスアワー」を示した一覧表を掲載してあります。「オフィスアワー」の曜日、時間帯、連絡先（メールアドレス、内線番号）などが記載されていますので、各教員を訪ねる際に活用してください。なお、建物配置図は「学生便覧」巻末に表示しているので、参照してください。

学修要項 — Phase II —
(医学部医学科)

編集 佐 賀 大 学
発行

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号
電話 (0952) 31-6511 (代表)



佐賀大学医学部医学科